

介護老人保健施設
国立あおやぎ苑

開設20周年記念誌



医療法人社団 国立あおやぎ会
Medical corporation Foundation Kunitachi Aoyagikai



1. 質の高い介護
 1. 親切で徹底したサービスの提供
 1. 地域に貢献
 1. 役・職員の生活の向上

介護老人保健施設国立あおやぎ苑は平成10年10月12日開苑以来、介護老人保健施設として地域住民の介護に伴う諸問題に対して、親切、誠実、積極的な対応を心がけ、施設利用者が自立した生活を送れるように支援し、在宅復帰を実現してまいりました。

介護を必要とする皆様が、安心して利用できる施設を目指しております。

1. 総合的なケアサービス施設として
利用者の望まれる日常生活の介護、ADL
向上のためのリハビリテーションに合わせて毎日の生活が楽しくなるよう様々な
レクリエーションをおこなっています。

2. 在宅復帰施設として
明るく家庭的な雰囲気の中で、利用者の意
志と人格を尊重したサービスを提供し、短
期入所(ショートステイ)や通所リハビリ
テーション(デイケア)、訪問リハビリテー
ション、ケアハウス、居宅介護支援などの
機能を活かし、在宅での生活に身近な施設
を目指します。

3. 地域に開かれた施設として
在宅介護支援事業や施設サービスの提供者との密接な連携に加え、ボランティアの方
が参加するなど、地域住民にも広く開かれた施設を目指します。

4. 認知症への取り組み
認知症高齢者の方々に対しては専門的な
介護、リハビリテーションを積極的におこなっています。



第1章	ごあいさつ	
・医療法人社団 国立あおやぎ会	……………理事長 大 富 真 吾	04
お祝いの言葉		
・国立市長	…………… 永 見 理 夫	08
・社会福祉法人 国立市社会福祉協議会	…………… 会長 喜 連 元 昭	09
・20周年式典の様子		10
第2章	開苑よりのあゆみ	
・医療法人社団 国立あおやぎ会	…………… 常務理事 中 川 進	14
・国立あおやぎ苑開苑までの軌跡		20
・医療法人社団 国立あおやぎ会20年の沿革		22
・組織図		26
・職員体制		27
・ご利用者様の推移		28
・財産目録		29
・身近な介護サービスの主体として		30
・さまざまな取り組み		32
・充実したリハビリテーション		34
・地域事業への参加、苑内イベント		36
・受賞、表彰者		38
第3章	事業所紹介	
あおやぎ会グループ 介護サービス内容		42
・国立あおやぎ苑 本館		44
・国立あおやぎ苑 繩文棟と石棒		46
・国立あおやぎ苑立川		48
・グループホームあおやぎの家		49
・富士見台介護相談センター		50
・谷保デイサービスセンター		51
・立川南口デイサービスセンター		52
・八王子健康管理センター		53
・八王子デイケアセンター		54
・訪問介護ステーション国立あおやぎ苑		55
・みのわ通りクリニック		56
・介護専用型 ケアハウス国立あおやぎ苑		57
・グループホーム立川富士見町の家		58
・国立あおやぎ苑立川 介護相談センター		59
・従来型 ケアハウス国立あおやぎ苑立川		60
第4章	振り返って	
・20年を振り返って		64
・医局より		66
・リハビリテーション課より		67
・通所リハビリテーション課より		68
・本館2階棟より		69
・本館3階棟より		70
・本館4階棟より		71
・縄文棟2階棟より		72
・縄文棟3階棟より		73
・縄文棟4階棟より		74
・栄養課より		75
・相談室より		76
・施設サービス計画課より		77
・総務課より		78
・入所者様、ご家族より		80
・ボランティアより		82
・永年勤続20年表彰者より		84
・思い出の写真		86
第5章	関連施設紹介	
・医療法人社団 国立あおやぎ会グループ15施設外観 所在地		88
・あとがき		90







Chapter 1

ご挨拶

国立あおやぎ苑 20年を想う



医療法人 社団 国立あおやぎ会

理事長 大富 真吾

医療法人社団国立あおやぎ会が最初に開設した介護老人保健施設(老健)国立あおやぎ苑は此の10月に創立20周年を無事迎えることができました。

これも偏に幾度ともなく御利用頂いた高齢者の皆様・ご家族の皆様のお蔭であり、近隣の地域住民の方々の御理解と御協力の賜物であると深く感謝申し上げます。また御指導・御支援を賜りました都や国立市等の行政機関、金融機関、建設・管理や食品サービス会社等々多くの関係各社の皆様に心より御礼申し上げます。

国立あおやぎ苑は平成10年10月入所130名、通所30名の定員で開設していますが、現状では本棟と別棟と合わせ入所266名、通所120名と定員は倍増し勤務職員も300名近くに増員され大所帯となって運営されています。平成25年12月隣接して別棟(縄文棟)が増設され、平成26年10月有床診療所が開設され、更に平成30年5月介護付ケアハウス(介護利用型軽費老人ホーム)がオープンし、医療介護の複合施設として広く市民の皆様から御利用頂いております。

過去20年間の当苑の歴史を振り返ってみますと、年号が平成に替わる頃、高齢化のスピードは速まり社会的入院や寝た切り高齢者が社会

高齢者が自分らしく
生き甲斐をもつて
住み慣れた地域で
生活できるよう支え、
地域社会と共に発展して
参りたいと思います。

問題化し、老人病院や療養ベッドが再編され、長期入院高齢者を家庭に復帰させるための新たな施設として老健が作られ始めました。

当苑の草創期はその様な時代を背景にして開設されていますが潜在的なニーズがあっても介護保険制度は未だ施行されておらず、経営資源が絶対的に不足する中で国立あおやぎ会の先達は多くの艱難辛苦に耐え、克服し事業を軌道に乗せられた事実は尊重しなければなりません。その後、経営基盤の動搖や地域社会の介護ニーズが高かったこともあり平成16年12月当法人としての2番目の老健国立あおやぎ苑立川の開設に至っています。

丁度10年前、リーマンショックの大波を受け日本経済は低迷し政権交代や年金・消費税問題などで社会不安は深まり、更に平成23年3月東日本大震災が発生し甚大な被害が各地に及び、社会は恐怖と混迷に陥っていました。この様な情勢の中で当老健も色々影響を受けていますが特に平成25年当苑別棟(縄文棟)の開設遅れに直結し経営上大きな負担となった事は否めません。この頃から少子高齢化社会は常套句となり、介護保険サービスが広く普及し利用者が拡大したことや当法人内で優秀な人材が育つたことも相まって国立あおやぎ苑は成長路線を

歩むことが出来ました。

ところで震災とは直接関係ない縄文棟開設延期の特記すべきもう一つの理由は建設地の汚染・埋設物調査でした。しかしこの調査の結果、約4千年前の縄文中期の遺跡が発掘され、祭祀に使われたと考えられる4本の石棒が出土し、遺構は祭祀の場であったと推察されている。この地域は多摩川河岸段丘上に位置し氾濫から守られ多数の縄文人集落が建ち並ぶ遺跡も認められている。祭祀では死者の再生復活や子孫繁栄、作物の豊饒を祈願していたのかも知れない。また近くには円墳などの遺跡もあることからこの地域一帯は神聖な地域であったと考えられます。悠久の歴史に想いを馳せロマンを感じながら心清らかに仕事が出来る喜びと幸せは他に替え難く縄文人から託されたような不思議な縁を感じられます。

国立あおやぎ苑は創業から20年の節目を迎え、人で言えば成人に達する事になります。民法が改正され成人年齢は18才まで引き下げられますが制法上はそうであっても現実社会では「大人」と必ずしも認められず「子供」のままの場合が多い。「大人」と「子供」の違いを自立と依存に換言すれば特定の誰かに依存しているか否かであり「子供」から「大人」への脱却は依存



Chapter 1

ご挨拶

先を増やし、替えながら度合を薄めていくプロセスに他ならない。即ち国立あおやぎ苑を本拠地とする当法人が市場を開拓し事業を拡大して進む姿は「大人」への成長プロセスであると考えています。

国立あおやぎ会は現在14ヵ所の多岐に渡る介護関連事業所を国立・立川・八王子市に於いて展開していますが、介護施設を拠点とし医療・介護・リハビリ・在宅復帰・在宅支援まで当法人内で多様な高齢者ニーズに一貫して最大限応えられるような体制づくりを進めています。今後は各事業所間の情報の共有・縦横の連携や機能が十分に発揮され、真に地域に役立っているかどうかを検証することも大切であると考えています。

今、日本は世界に先駆けて超高齢化社会に突入している。国民の誰もが社会保障制度を享受でき長寿となっているからとも言える。一方「2025年問題」が間近となってその対策としての地域包括ケアシステム構築が着実に進展している。昨年、介護保険法の改正がありケアシステム強化策として在宅復帰機能・在宅支援機能が老健の役割であると明示されています。また今年4月の介護報酬改定では改正法に整合させ在宅復帰・在宅支援・地域支援などの評価が

報酬に強く反映されており、同時に評価項目の点数によって老健類型が決定されることになっています。直後より当老健及び第2老健では改正法の意図・方針を強く意識し全職員一丸となって類型最上位の超強化型獲得を目指して真剣に取組んでいます。その成果として報酬加算が算定できれば収益増が図られ、入所・通所サービスの向上や介護職員の待遇改善につながり事業経営の安定に大きく寄与すると考えています。

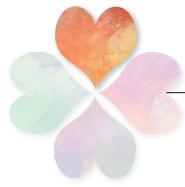
現在、国の財政健全化の方針のもと社会保障関係費の伸びが抑制される一方、超高齢化社会を迎え、老健を取り巻く環境はますます厳しくなっています。特に日本の人口構造のバランスの崩れから人材不足があらゆる業界で叫ばれ、介護分野においても深刻な問題になっています。当苑に於いても直面する課題は山積しておりますが、この様な状況を乗り越えるためには世の中の変化を恐れずむしろ積極的に取り組みながら老健が本来もっている機能をしっかりと発揮し医療・介護・在宅支援等の多様なサービスを担う施設としてその役割を十分に果し地域包括ケアシステムの中核となって躍進することが最も重要であると考えられます。時代の変化への挑戦を成長の原動力に変え成長を通してよ

り健全・堅固な事業基盤を構築していくことが
今後の国立あおやぎ苑やその他の事業所の成
長に繋がるものと確信しています。

国立あおやぎ苑は人生100年時代の今、高齢
者が自分らしく生き甲斐をもって住み慣れた地
域で生活できるように支え、地域社会と共に発
展して参りたいと思います。

今後とも御利用・御支援を賜りますよう宜し
くお願い申し上げます。





Chapter 1

祝辞

国立あおやぎ苑 開設20周年を祝して



国立市長 永見理夫

このたび国立あおやぎ苑が創立20周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

今から20年前、平成10年の国立市的人口は68,119人、65歳以上の高齢者人口は8,936人で高齢化率は13%ほどでした。その後少子高齢化が進展し、現在では高齢者人口は17,305人、高齢化率は22%を超えていきます。

この間、高齢者福祉制度を取り巻く社会情勢は、平成12年度から介護保険制度が発足し、現在では高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築が各自治体の課題となるなど、目まぐるしく変化しています。

そのような情勢下で国立あおやぎ苑には都内でも屈指の規模の老人保健施設として、またショートステイや訪問リハビリテーション、居宅介護支援など在宅サービスとしても市民の介護ニーズを支え続けていただいており、本年からはケアハウスも開設されています。

国立市としても、今後の市の地域包括ケアシステム構築に国立あおやぎ苑が果たす役割に期待しております。

最後に国立あおやぎ苑の益々のご発展を祈念してお祝いの言葉といたします。

国立あおやぎ苑 開設20周年を祝して



社会福祉法人 国立市社会福祉協議会
会長 喜連 元昭

このたび開設20周年を迎えられること、
誠におめでとうございます。

多摩川のほど近くに拠地を定められ、地域に
根ざした老人保健施設として肌理細かい福祉
サービスをご提供いただいていることに心より
感謝を申し上げるとともに、今やまちには無く
てはならない存在として大きな役割を果たされ
ておられることに敬意を表します。

創業当時には実現に向け幾多の困難を伴わ
れたと仄聞しておりますが、卓越した先見性と
たゆまぬご努力によりこれを乗り越えてこられ
ました。

そして何よりも、利用者本位のゆるぎない理
念のもとで、それに携わる人材も大切にしなが
ら、確かなマネージメントにより運営をなされて
おられることが人々の共感を得られている所以
であろうと存じます。

さらに国立あおやぎ苑を母体として近隣地
域にも総合的な福祉サービスを拡充されておら
れることは、社会福祉協議会に携わる者にとっ
ても大きな喜びであり、また名誉に思う次第で
ございます。

24時間安心安全のまちづくりの推進には
様々な福祉活動との連携が益々重要となってお
りますが、その主要な一翼を担っておられる貴
苑にはこれからも格段の期待を寄せるととも
に、更なるご発展を祈念し祝辞と致します。



Chapter 1

記念式典の様子

お陰様で20周年を迎えることができました

介護老人保健施設
国立あおやぎ苑
設立20周年記念祝賀会

日 時：平成30年10月13日
11:00開会
場 所：パレスホテル立川
4階ローズルーム

～式次第～
第1部
永年勤続者表彰式

第2部
国立あおやぎ苑
開設20周年記念祝賀会
開会の辞
理事長あいさつ
ご祝辞
乾杯
歓談
記念コンサート
余興
中締め
閉会の辞

■ 祝辞



国立市長 永見理夫様



多摩信用金庫
理事長 八木敏郎様



西武信用金庫
常務理事 半澤佳宏様

■ 乾杯



株アイサービス
代表取締役 高津年夫様



ピアノ 海野葵様 (利用者様ご家族)
フルート 日野真奈美様 (利用者様ご家族)
サックス 和田直紀 (職員)

■ 記念コンサート

■ 余興



林家まる子・カレー子

■ 開会の辞



施設長 壱岐健二郎

■ ご挨拶



理事長 大富真吾

■ 中締め



監事 深堀政男

■ 閉会の辞



常務理事 中川進

■ 司会



事務長 山本宏美
リハビリ課課長 末岡広光

■ 記念祝賀会の様子







Chapter 2

20年を振り返って

開設20年の振り返りと、 今後のおおやぎ苑



医療法人社団 国立あおやぎ会

常務理事(創設者)

中川 進

介護老人保健施設国立あおやぎ苑が、お陰様で何とか経営主体である医療法人社団国立あおやぎ会のままで開設20周年を無事迎えることが出来た事に対して感慨もひとしおです。これもひとえに、これまで国立あおやぎ苑グループを支えてくださった多くの関係者の皆様に対して衷心より感謝申し上げます。

思えば、この間いくつかの大きな決断をし、前に進んできました。最初の決断は国立あおやぎ苑を開設する為に医療法人を設立する時でした。当時勤務し大変お世話になっていた医療法人財団久盛会の後藤忠久理事長の了解を得て退職させてもらい秋田を離れた平成8年8月でした。

平成9年2月に東京都知事より医療法人設立の認可を受け、平成10年10月に老人保健施設国立あおやぎ苑の開設となりました。無事に開設が出来たのは先ず敷地(2908m²)が借地であったこと、又、医療法人の特殊性から、理事長の条件は医師又は歯科医師でなければなりません。しかしながら当法人の場合、資金調達は借り入れ依存が多くなっているので、その借入金に対して、連帯保証人になれる医師の確保でした。知人の紹介により幸い初代理事長の太田怜先生と巡り合い、平成21年6月の退任迄、全く

今迄築いてきた
絆を大切に、
引き続き
ご支援賜りたく
お願い申し上げます。

の他人である私を理解して下さり事業の推進に協力を得られたことでした。

後は事業資金(総額1,300,000千円)の調達でした。東京都は老人保健施設の整備促進を重点事業として位置付けていた関係もあって補助金も多額(690,000千円)でしたが、自己資金が5,800千円よりなかったので残りは借入金への依存でした。借入金の内、国の制度借入である社会福祉医療事業団借入(349,000千円)と、リースでの対応分95,200千円で、残りの160,000千円の調達でした。どうしてもこの分は民間の金融機関にお願いするよりありませんでした。事業実績もない事もあって心配でしたが地域に本店のある多摩信用金庫(当時は多摩中央信用金庫)東立川支店に相談した処、比較的短期間で返済期間20年(現在35年に延長)の条件で融資を受けることが出来無事にスタートが出来ました。

次の大きな決断は、前述しました借地していた敷地が地主様の都合で急に取得しなければならない状況になった平成13年の1月でした。この頃は、役員間での事業運営に対しての意見相違。又、一部役員とのトラブル等があったりして不安定な状況でした。そのような状況を打開する為に地主様の申し入れを受け入れ、同時に

法人役員の見直しを実行し、その時に決めた事が医療と経営の分離でした。医療は医師側に経営と人事は私の役目でした。役員・職員間の良好な関係を進めることができると判断し、敷地取得を決断しました。取得価格は鑑定評価により、土地代分897,714千円と登録免許税、仲介手数料等で総額960,000千円の借り入れとなりました。借入先として多摩信用金庫 東立川支店400,000千円と西武信用金庫 立川南口支店560,000千円で、この時始めて西武信用金庫立川南口支店との取引がスタートしました。

このように急に多額の借入金が発生した為、その負担を国立あおやぎ苑1カ所の老健での収入では無理と判断し、第2老健(2カ所目の老健)開設計画を前述の敷地取得時に決断していました。

第2老健(現国立あおやぎ苑立川、入所定員151名、敷地は借地)は平成16年12月に開設しましたが計画当時から、一部近隣住民の反対、又、国の福祉施設の整備を抑制する方針が出ていた頃でしたが、計画地は立地条件および国立あおやぎ苑(第1老健)からも近く同じエリアに位置しているので将来的にもメリットが高いと判断し、一部反対住民の住宅(4棟)を取得し開設に漕ぎ着けた関係もあって、第2老健もコスト



Chapter 2

20年を振り返って

が高い施設となっていました。

第1老健(当時146ベット)及び第2老健(当時148ベット)の利用者確保の為、国立市、立川市内にグループホーム(2カ所)デイサービス(2カ所)居宅介護支援事業所(2カ所)ケアハウスを開設し事業の多様化、拡大に努めてきました。

以上のような状況となった関係で第1老健、及び第2老健ともコストの高い施設となった事もあって、財務体質の改善に努めなければならぬと考えていたところに、飛び込んできた情報が八王子健康管理センター(経営主体は社会保険庁)の事業譲渡でした。慎重に情報を精査し投資コストを低く抑える為、不動産を取得しないで営業権のみを取得する条件を提示し入札に参加する事を決断しました。平成21年12月のことでした。その時の投資額は200,000千円(内訳:保証金120,000千円 運転資金80,000千円)は全額多摩信用金庫東立川支店からの借入金で調達しました。八王子健康管理センターの業務内容は当時の政府管掌の健康保険組合(現在の協会けんぽ)加入者への健康診断を実施していました。当時のデータでは収入800,000千円、営業利益率11%程度を維持していた優良事業でした。現在も高収益を維持し当法人の稼ぎ頭となっています。

それでも常に私の頭の中には第1老健及び第2老健が高コストの為、第3老健の開設計画がありました。平成22年12月に第1老健に隣接していた(株)ムラック様から土地譲渡の情報でした。敷地(3044.60m²)が隣接しており第1老健の増築(入所120名、通所40名)となり、老健の人員基準から効率化ができるので低コストの老健になるものと判断し、土地の取得を決断し平成23年2月末日に所有権移転登記を完了し当法人の所有となりました。すでに東京都の老人保健施設整備事業として認可されました。当時、第3老健(現在の縄文棟)は総事業費約20億円の大事業(資金調達、東京都助成金588,000千円、西武信用金庫借入730,000千円、福祉医療機構借入550,000千円、リース120,000千円、自己資金12,000千円)となるので、工事着工(予定平成23年4月1日)迄の少しの時間を使って平成23年3月11日に実家である秋田に住んでいる母を見舞いに行った時に、あの東日本大震災に遭遇し、その後の停電、交通機関のストップにより東京に戻ったのは3月13日となってしまいました。

今まで大きな決断をしてきましたが幸い何とか順調に推移していました。しかしながら東日本大震災の影響が医療法人社団国立あおやぎ

会の経営をこんなにも苦しめるとはその時点では思ってもいませんでした。具体的には土地を売却してくれた(株)ムラック様は千葉県の浦安に移転を計画していたが、その浦安が東日本大震災の影響で大規模な液状化が発生し浦安への移転を断念し別の場所への移転が決まる迄の約4ヶ月第3老健の着工が遅れ、その後も縄文土器の発掘等により開設が8ヶ月遅れとなってしまいました。又、建築費にしても東日本大震災後は大幅な資材の高騰、そして第3老健のスタッフ約70名全員をすでに採用していた関係もあって総事業費が約4億円の増額となっていました。その資金調達を本来であれば当核事業を支援して下さったメイン金融機関の西武信用金庫に相談しなければならないのに、当時飛び込みで営業を受けていた三井住友銀行、及びみずほ銀行より各2億円ずつを無担保で融資を受け対応していましたが、その後の条件変更等により一部の借入金を返済期間5年の分割返済となり、又この頃必要があって新規に事業を開始した有床クリニック(現みのわ通りクリニック)及び日比谷公園クリニックの事業の引き受け等があって、苦しい経営になっていました。

この状況を開拓していく為には平成24年度の介護報酬改定で国が示した老人介護保健施

設への在宅強化型への誘導策が出たのでチャンスと思い、すでに第1老健、第2老健及び縄文棟で老健のベッド規模が417ベッドとなっていたので、在宅強化型への移行が出来れば真水での収入が年間約1億円程度となる事もあって経営を開拓していくには、これよりないと判断し在宅への投資が必要と決断しました。具体的には縄文棟に隣接しすでに借地として先行確保していた場所に東京都助成事業である介護専用型軽費老人ホーム50ベッドの開設でした。お陰様で西武信用金庫及び多摩信用金庫の協調融資により平成30年5月1日に開設できました。

直近の平成30年4月の介護報酬改定では新たに介護老人保健施設には5段階による格付けが明示され、それにより介護報酬が増減されるシステムになりました。現在(平成30年8月1日)の第1老健、第2老健、縄文棟は上から2番目の格付(在宅強化型)となっていますが、おそらくこの記念誌が発行される平成30年12月には最上位の格付け5の超強化型老健(スーパー老健)となり、その增收が年間約2億円程度となる見込みです。開設20年となる平成30年度になって、ようやく安定した経営基盤が出来たものと思っています。

長い道程でした。この間私を全面的に信頼し



Chapter 2

20年を振り返って

支援して下さった西武信用金庫様、多少不安だったと思いますが引き続き支援して下さった多摩信用金庫様、又、協力関係業者の皆様、それにここまで私について来てくれた役職員の皆様には心より感謝申し上げます。

これまで開設20年を振り返っての寄稿でしたが、この後はこれから想定されるリスク等に対応していく為に「人材の育成」「組織の見直し」「業務の改善」に取り組んでいかなければなりません。現在、国が進めている地域包括ケアシステムの構築については、地域密着型で運営している当法人として、現在提供できていないサービスの訪問看護、往診が出来るようになれば、地域限定(国立市及び立川市の一部)となるが、当法人独自での地域包括ケアシステムが構築出来て、より一層地域に信頼される国立あおやぎ苑グループとなるように努めていきたいと思っております。

これからは人口減少、介護職員の採用難等、厳しい経営環境になりますが、現在もっている多様な経営資源を活用して、経営の永続と職員の処遇改善が平衡して達成出来るよう努めて行きたい。又、医療法人の特殊性から借入金に対して連帯保証人となれる理事長の確保も私の重要な仕事となっていますが、これにつ

いては経営の永続的な安定化によって東京都に申請出来る理事長選任特例制度を視野に置いて大きくなった医療法人社団国立あおやぎ会をまとめていける人材の育成に努めていく所存です。

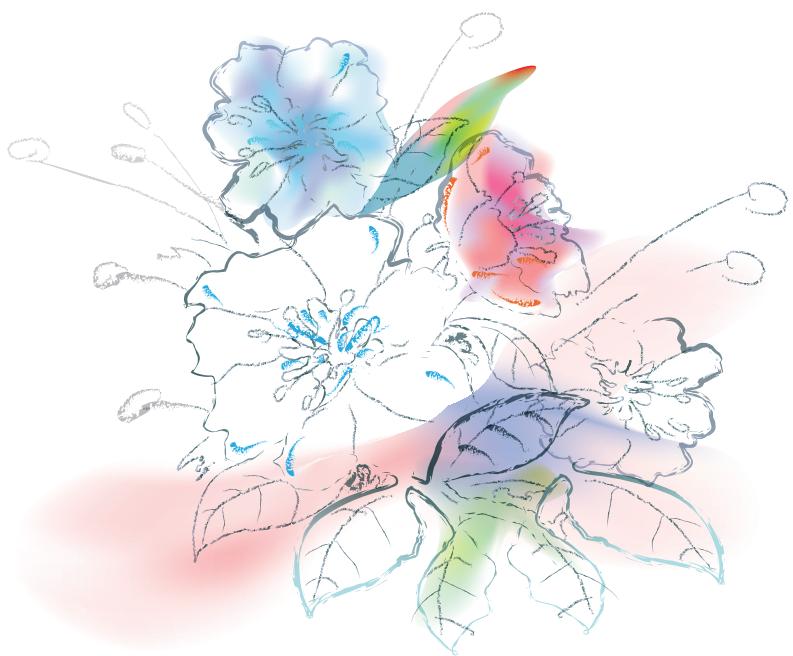
お世話になっているお取引先皆様の経営環境も厳しいかと思いますが、今迄築いてきた絆を大切に今後とも引き続きご支援賜りたく御願い申し上げます。

ご挨拶
祝辞

開園よりのあゆみ

事業所紹介

振り返って





Chapter 2

開苑までの軌跡

国立あおやぎ苑 開苑までの軌跡

此の度の5周年記念誌の発行を機に後世の為国立あおやぎ苑創設の経緯を残して置かなければとの思いでベンを執りました。

●平成7年9月 東京進出へ突然の人事異動

今になって思えば、それは私にの突然の東京行の人事異動が発令された、平成7年9月当時勤務していた医療法人久盛会（秋田県秋田市）理事長後藤忠久先生からの内示が国立あおやぎ苑のスタートとなりました。

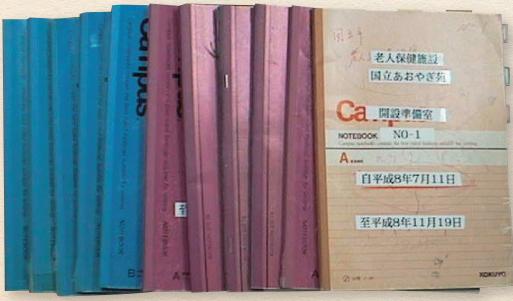
後藤理事長の考えは老人保健施設の整備が遅れている東京都内の高齢者の為に老健を開設しようとの思いから当時事務長をしていた私に東京進出の大役が来たもので、開設地区をJR中央線沿線に設定して関係機関との協議を進める為平成7年10月東京渋谷区原宿に同法人東京事務所を開設し単身で着任しました。

●平成8年4月 国立市で開設への希望の光

予算の関係もあって、八王子からスタートしましたが八王子地区には既に老健が8か所あり、これ以上の開設は市としては認められないとの事で断られ、続いて相談した日野、昭島、東大和、立川市からも当時老健に対しての関心が低く断られる状況が続きました。

JR中央沿線での開設は無理なのではないかと思いつ飛び込んだのが国立市社会福祉課でした。その時応対して下さったのが大沼信一さん（現国立市企画部長）でした。

初対面の時に言われた言葉は今でも忘れられません。それは市の財政事情が厳しいので補助金等は出せないが市は老健施設の整備を重点施策に位置付けしているのでぜひ進めて下さいとの言葉でした。帰る時に大沼さんより国立市の福祉計画書を頂戴して、東京での老健開設が一步前進したとの思いがしました。



開苑までの各方面との交渉内容をメモしたノート

●平成8年6月 進出目前で突然の計画中止に…

その後国立市内の土地情報を収集し、間もなく、現在国立あおやぎ苑が建っている土地を紹介され、土地所有者の土方重雄氏（後の常務理事）と

交渉を進めながら東京都衛生局（当時）との間で開設計画の事前協議に入りました。

土地の交渉、東京都との事前協議も順調に進み、老健開設の本格的スタートが出来るものと思っていた矢先のことでした。

後藤理事長より東京での老健開設計画に対して取引銀行から協力出来ないと報告を受け計画を断念したので秋田に戻るよう指示を受け、後ろ髪を引かれる思いで平成8年6月秋田に戻る事になりました。

●平成8年7月 自らの力で創業を決意

秋田に戻りましたが、老健の建設に協力頂いた方々の事、国立市では老健施設が足りなく、必要としている方がたくさんおられる事。私の中で国立市で老健施設を建てたいという思いが日に日に強くなっていきました。

既に土地の仮契約が終っていたので土方重雄氏に事情を説明、お詫びの為訪問した際に、私の方からこの土地を貸して下されば老健は開設出来る事を説明しました。土方さんより自分自身も以前から福祉事業に関心があったので協力しても良いとのご返事を頂きました。

この間の事情を前記医療法人の後藤理事長に説明し円満に同法人を退職させてもらい、再度東京に戻って国立市に老健開設を決断し、土方さんのご協力もあって平成8年7月11日国立あおやぎ苑開設準備室を開設しました。

●いくつもの高いハードル 理事長の就任

開設まではいくつもの高いハードルが予想され不安もありましたが開設を決断した以上、希望をもって前に進むよりありませんでした。

先ず越えなければならないハードルは医療法人の設立です。医療法人の理事長は医師又は歯科医師でなければならぬとの医療法の指導がある為、さっそく秋田での仕事上のお付き合いをしていた、有限会社東北医療産業岡部社長の友人で当時東京順天堂大学病院のレントゲン技師をしていた森清光様（後の非常勤監事）を紹介されました。

森様に計画概要を説明し、理事長は老健の事業計画に伴う借入金に対して個人で連帯保証人とならなければならぬいため人選は厳しいと思われましたが格別のご協力を頂きました。

まもなく、後に理事長となる太田怜先生との出会いとなりました。太田先生に私の今迄の経験、今回の事業計画等を詳細に説明したところ心よく理事長就任を承諾下さり、この時点で医療法人設立の目途がつきました。

●いくつもの高いハードル 資金調達

次の高いハードルは事業資金約13億円の調達でした。自己資金となる出資金は580万円しかなく、大部分は国及び東京都からの補助金約7億円と金融機関からの借入金5億円、それとリース1億円でした。

特に民間金融機関から借入を予定していた1億6千万円の調達には大変苦労しました。

最初に相談した大手都市銀行には1ヵ月近くの期間を掛けて誠実に計画を説明し私共が進めようとしている老人保健施設事業は国の重要政策である少子高齢化問題にも



建設中の様子

対応する公共性の高い事業である旨を再三に亘り説明しましたが理解を得られず融資を断られました。幸い他の金融機関にも融資相談を進めていた時に土方重雄様より地元の多摩中央信用金庫東立川支店を紹介され、お陰様で短時間で融資を受ける事が出来ました。残りの借入先は政府系金融機関とリース会社であったので民間銀行の借入金が決定した事によって高いと思っていたハードルを無事越える事が出来、老健開設に向けて大きく前進する事になりました。

●いくつもの高いハードル スタッフの確保

次のハードルはスタッフの確保でした。特に老健の目玉であるリハビリスタッフの確保については当時から多くの老健で苦労していたので早い時期から各方面に相談し、特に力を入れたのがリハビリ機器納入業者との交渉です。機器購入を条件に情報の提供を要請したところ早い時期にリハビリスタッフを確保する事が出来ました。

確保が厳しいと予想していた看護職は早い時期から、ナースバンク立川、ハローワーク、新聞広告等により募集を進めた結果、人員基準の14名より多い18名の採用が決まりました。

老健で一番人数の多い介護職員の確保については地元国立市にあるYMC A福祉専門学校、町田福祉専門学校、ハローワーク等に広告を出した結果、人員基準の34名より多い40名の採用が決定しました。

又、施設運営で重要な部分を占める相談職員は国立あおやぎ苑の相談職員として育成して行く考えから、あえて新卒職員を採用し平成10年7月頃にはスタッフの確保が出来ました。

●開設までに130人もの施設利用者が予約

次のハードルは施設利用者の確保でした。建築工事の始まった平成9年10月頃から老健のPRの為、国立市内の各種団体等に積極的に接触し、翌年8月に相談室を開設して予約登録を進めた結果、平成10年10月の開設時には定員一杯の130名もの予約名簿が出来ていました。

この頃の質問の多くは老健という所は、せっかく入所出来たのに3ヶ月、6ヶ月等で退所させられるが、国立あおやぎ苑も同じかとの質問でした。介護者の不安を少しでも軽減出来るように国立あおやぎ苑は入所者がリハビリ等によって在宅に戻れるようになるまでお世話しようと考え施設の方針としました。この方針は現在も変わっておりません。

●平成10年10月 遂に国立あおやぎ苑の開苑

在宅での介護が困難な認知症の家族からの相談には特に積極的に対応しようと考え、それまで東京の老健では少なかった認知症専門棟を設置しました。建築工事も予定通り進んでおりましたので平成10年9月1日には全てのスタッフ出席による入社式を実施し開苑に向けての準備は全て終了しました。

あとは開苑予定日の平成10年10月12日迄をリハーサ

ル期間にあて、併行して入所予約をもらっていた方の入所スケジュールを検討し職員の不慣れ等からの事故を未然に防止する為、3ヵ月程度の余裕期間をもって順に入所を進めました。

開設後は質の高いサービスを継続して行く為にも、先ず経営の安定化が重要と考え特に国立あおやぎ苑が必要とする人材の育成に努めました。この問題は現在も最重要のテーマとして常に私の頭から離れません。



開園時の様子

●平成12年11月 開苑2年目で最大のピンチが

国立あおやぎ苑は多くの人達の特別のご協力もあってここまで来ましたが、全て順風満帆ではありませんでした。自分が思うに、この法人のピンチは漸く経営も軌道に乗って職員も安心して仕事をしていた平成12年11月に起きました。

それ迄借地していた土地を購入しなければならない事情が発生した時でした。約10億円近いお金が必要となり、自己資金がなく、全額銀行からの借入となる関係で、はたして銀行が貸してくれるかどうか不安でいっぱいでした。

●ピンチから一転して経営の安定へ

この事について法人設立以来取引していた多摩中央信用金庫東立川支店に先ず相談し、併行して西武信用金庫立川南口支店にも相談しました。両信用金庫から負担が増加するが、将来の法人運営を考える時、土地購入によって経営基盤を整備する事が重要とのアドバイスがありました。且つ引き続き支援を得られると判断し、土地の購入を決断し理事会の承認を得ました。

又、経営基盤の安定の為、法人の定款一部変更をし、出資持分の払戻しを出資額限度方式に改正し、法人の永続性を図りました。又、役職員が安心して仕事が出来るよう理事構成の見直しを実施し一部役員の退任と、新理事として職員代表及び国立市に福祉に理解のある方の紹介をお願いし国立市OBの福祉部長経験者を理事として迎える事が出来ました。

毎月定例理事会及び幹部職員による幹部会を開催し経営資料等を積極的に情報開示し役職員間の信頼関係の向上に努めた結果経営内容及び業績は飛躍的に向上しました。

これからも地域になくてはならない老健を目指し、より一層努力する事をお誓い申し上げ引き続き地域の皆さまからのご支援とご厚情を賜わりたく、お願い申し上げる次第です。

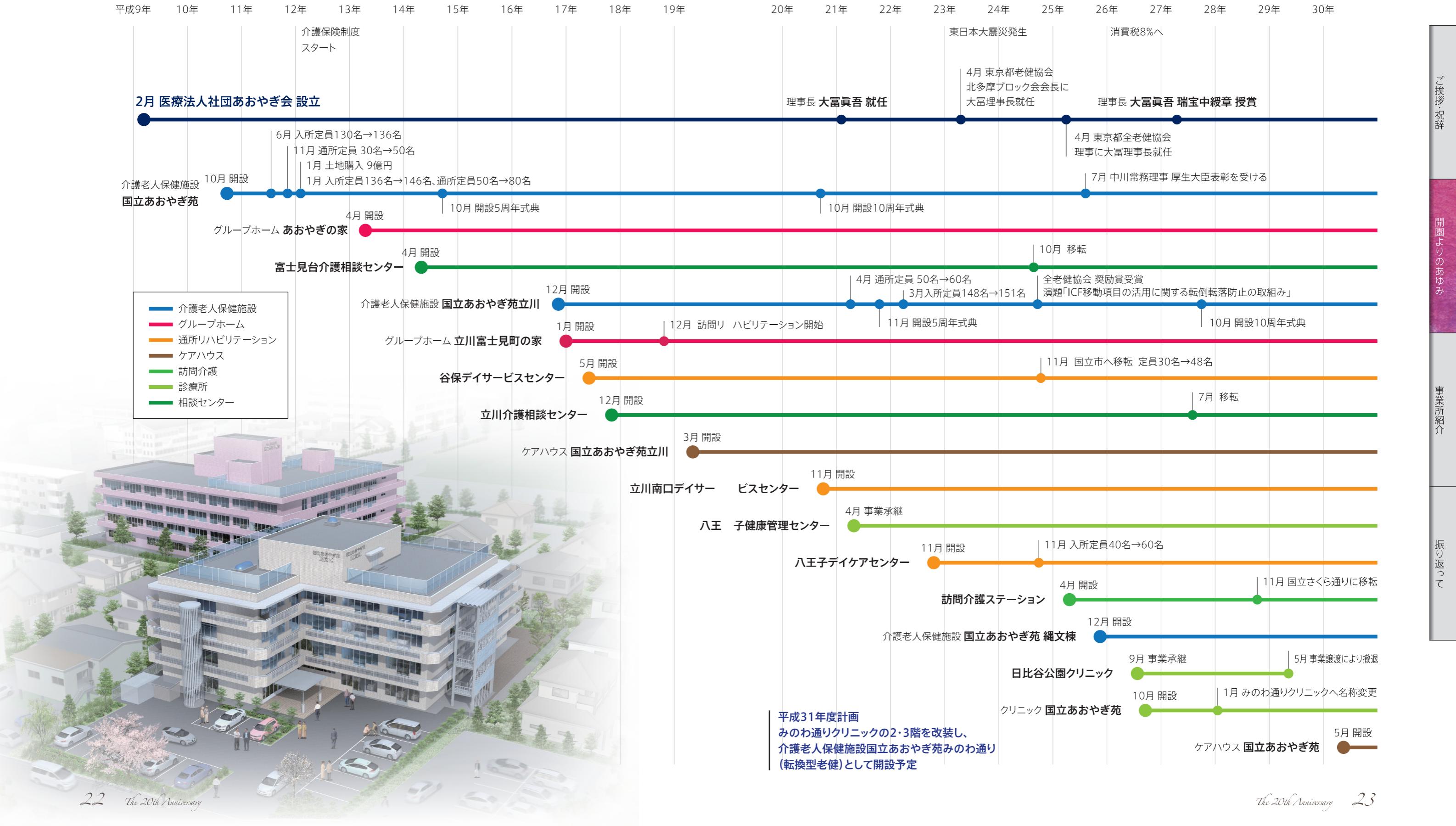
医療法人社団 国立あおやぎ会

常務理事 中 川 進



Chapter 2

国立あおやぎ会の沿革





Chapter 2

国立あおやぎ会の沿革

年次	あゆみ	介護保険に関わる主な出来事
平成 9年	2月 医療法人社団国立あおやぎ苑 設立	介護保険法成立
	12月	
平成 10年	10月 老人保健施設国立あおやぎ苑 開設 入所定員130名(内認知症専門棟30名) 通所定員30名	
平成 11年	6月 国立あおやぎ苑 入所定員変更 定員130名→136名	
	11月 国立あおやぎ苑 通所定員変更 30名→50名	
平成 12年	4月	介護保険制度スタート
平成 13年	1月 国立あおやぎ苑 底地購入 購入価格9億円 国立あおやぎ苑 通所定員変更 入所136名→146名(内認知症専門棟46名) 通所50名→80名	
	4月 認知症高齢者グループホームあおやぎの家 開設 定員9名	
平成 14年	4月 居宅介護支援事業所国立あおやぎ苑富士見台 介護相談センター 開設	
平成 15年	4月	介護報酬改定 施設サービス基本単位引き下げ リハビリ体制加算の再編
	10月 国立あおやぎ苑 開設5周年式典	個人情報保護法施行
平成 16年	12月 介護老人保健施設国立あおやぎ苑立川 開設 入所定員148名(内認知症専門棟45名) 通所50名	
平成 17年	1月 グループホーム立川富士見町の家 開設 定員9名	
	4月	
	5月 谷保デイサービスセンター 開設 定員15名	
	12月 居宅介護支援事業所立川介護相談センター 開設	介護報酬改定 施設での食費、居住費の自己負担化 通所サービス費が介護度別に設定 リハビリテーション、栄養等に加算新設 地域密着サービスの創設 要支援者への給付を介護予防給付に
平成 18年	12月 国立あおやぎ苑立川 訪問リハビリテーション事業開始	
平成 19年	3月 ケアハウス国立あおやぎ苑立川 開設 定員50名	
平成 20年	10月 国立あおやぎ苑 開設10周年式典	介護報酬改定 基本報酬の引き上げ、介護保険サービス 自己負担増、地域医療・ 介護連携推進事業の推進
	11月 立川南口デイサービスセンター 開設 定員30名	
平成 21年	4月 国立あおやぎ苑立川 通所定員変更 定員65名	介護報酬改定 サービス提供体制強化加算、 夜勤職員配置加算等の新設や見直し
	八王子健康管理センター事業承継	

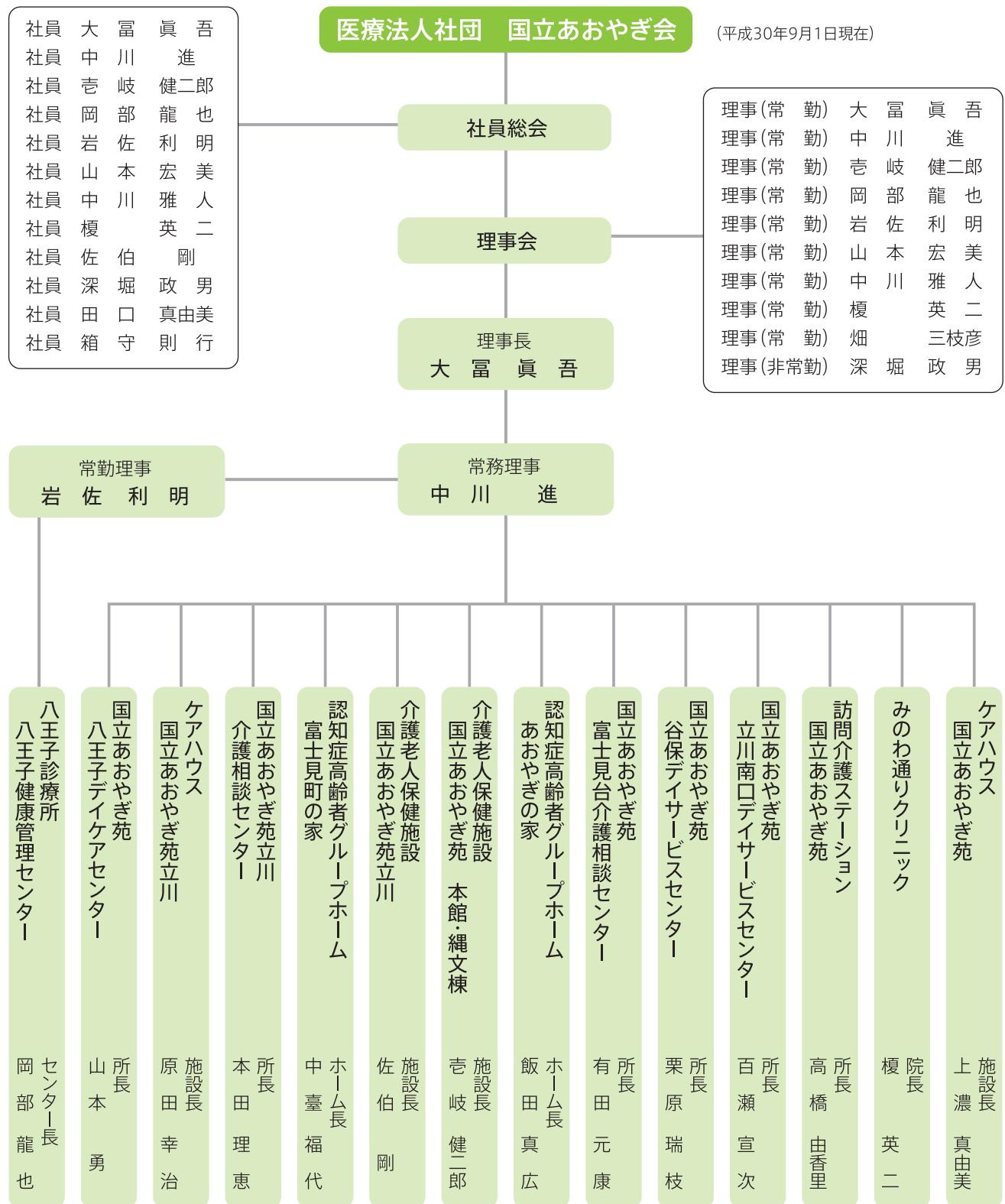
年次	あゆみ	介護保険に関わる主な出来事
平成 21年	6月 国立あおやぎ会 太田怜理事長退任 新理事長に大富眞吾就任 国立あおやぎ苑立川 施設長に大富眞吾就任	
	10月	介護職員処遇改善交付金制度始まる
	11月 国立あおやぎ苑立川 開設5周年記念式典を開催	
平成 22年	3月 国立あおやぎ苑立川 入所定員変更 定員148名→151名(認知症専門棟45名→48名)	
	11月 八王子デイケアセンター 開設 定員40名	
平成 23年	3月	東日本大震災発生
	4月 東京都老人保健施設協議会北多摩南ブロック会 会長に大富理事長就任	
平成 24年	4月	介護報酬改定 施設サービス費を見直し、在宅強化型を創設 在宅復帰加算創設 介護職員処遇改善加算を創設 地域包括ケアの推進
	10月 全国老人保健施設協議会岡山大会演題発表にて 奨励賞受賞 国立あおやぎ苑立川 演題 ICF移動項目の活用による転倒・転落防止の取り組み	
	11月 谷保デイサービスセンター 移転 定員変更 30名→48名 八王子デイサービスセンター 定員変更 40名→60名	
平成 25年	4月 一般社団法人東京都老人保健施設協議会理事に 大富理事長就任 訪問介護ステーション国立あおやぎ苑 開設	
	7月 国立あおやぎ会 中川常務理事 厚生労働大臣表彰を受ける(老人保健施設従事者功績)	
	12月 国立あおやぎ苑縄文棟 開設 入所定員120名(計266名) 通所定員40名(計120名)	
平成 26年	4月	消費税8%へ 介護報酬改定 消費税アップ分を基本単位に上乗せ(0.63%)
	9月 医療法人社団国立あおやぎ会日比谷公園クリニック 事業承継	
	10月 クリニック国立あおやぎ苑(有床診療所) 開設 療養病床17床	
	12月 国立あおやぎ苑立川 開設10周年記念式典を開催	
平成 27年	4月 大富眞吾理事長 瑞宝中綬章 授賞	介護報酬改定 基本報酬の引き上げ、 介護保険サービス自己負担増、 地域医療・介護連携推進事業の推進
平成 28年	1月 クリニック国立あおやぎ苑名称変更 「みのわ通りクリニック」へ	
	11月 訪問介護ステーション国立あおやぎ苑移転	
平成 28年	5月 医療法人社団国立あおやぎ会日比谷公園クリニック事業譲渡により撤退	
平成 30年	4月	介護報酬改定 老健の報酬体系再編、 「超強化型」を創設
	5月 介護専用型ケアハウス国立あおやぎ苑開設(定員50名)	
	10月 国立あおやぎ苑 開設20周年記念式典を開催	



Chapter 2

組織図・職員体制

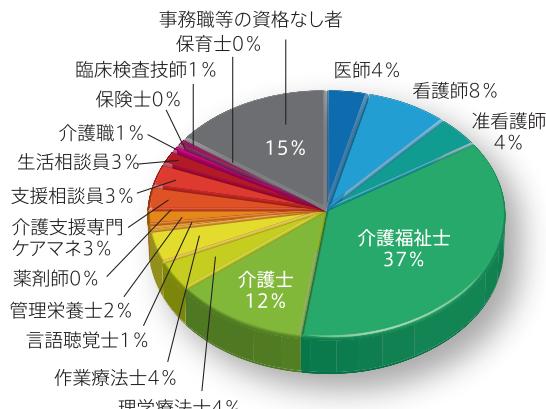
組織圖



職員体制

資格保有者数	従業員数	医師	看護師	准看護師	介護福祉士	介護士	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	薬剤師	介護支援専門員ケアマネ	支援相談員	生活相談員	介護職	保健士	臨床検査技師	保育士	事務職等の資格なし者
国立あおやぎ苑 本館	139	3	9	5	45	22	6	12	2	3	—	2	7	—	2	—	—	—	21
国立あおやぎ苑 繩文棟	76	2	6	6	37	10	3	2	1	1	—	2	2	—	—	—	—	—	4
富士見台介護相談センター	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—
グループホームあおやぎの家	9	—	—	—	8	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
谷保デイサービスセンター	11	—	1	—	2	3	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2
立川南口デイサービスセンター	7	—	—	1	2	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	1
八王子デイケアセンター	22	—	2	—	9	3	2	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	3
訪問介護ステーション	20	—	—	—	13	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ケアハウス国立	28	—	4	2	12	2	2	—	—	1	—	1	—	2	—	—	—	—	2
国立あおやぎ苑立川	115	3	9	8	56	11	5	4	2	2	0	2	3	0	1	—	—	2	7
ケアハウス立川	6	—	—	—	3	—	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—
グループホーム立川富士見町の家	9	—	—	—	7	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
立川介護相談センター	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—
みのわ通りクリニック	7	1	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
八王子健康管理センター	64	14	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	5	—	36
合計	526	23	40	23	194	61	20	20	5	8	1	17	14	9	4	2	5	2	78

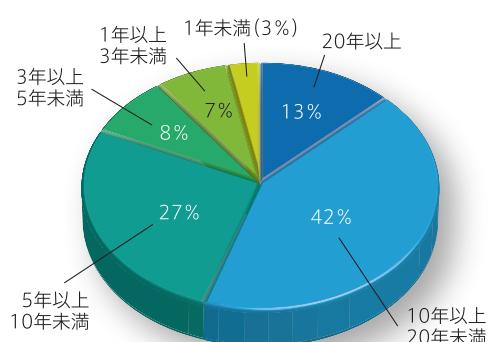
H30年5月現在



85%以上の従業員が資格を保持

スタッフの有する資格取得者のグラフです。

85%以上のスタッフが資格を取得しています。事務職を除くと95%以上になります。スタッフには従事する仕事に合った研修や資格取得の推進をおこないスタッフのレベルアップを目指しています。資格の取得で得られる「正しい知識」、経験から得られる「きめ細やかなサービス」が、安心して国立あおやぎ会グループをご利用いただける礎になると考えています。



キャリア5年以上82%

スタッフの介護・看護職にかかわった経験年数のグラフです。

キャリア5年以上のスタッフが82%以上。キャリア10年以上のスタッフは半数以上を占めています。(事務職を除く)

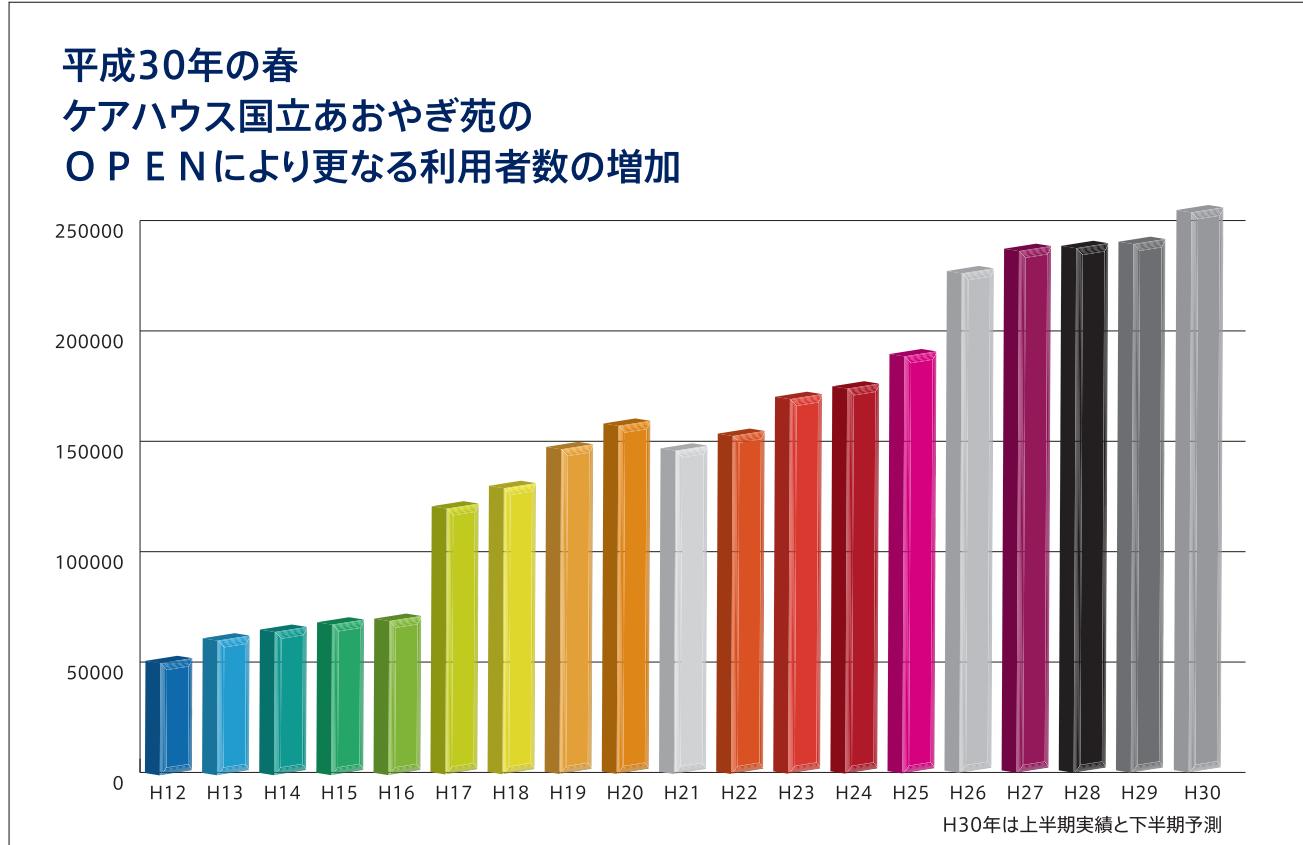
ベテランスタッフの豊かな経験は、安全で、きめ細かい快適なサービスをお受けいただくには欠かせません。また、ベテランのスキルを中堅、若手スタッフに伝承していくことで、きめ細かい継続的なサービスを提供しています。



Chapter 2

ご利用者様の推移

ご利用者様の推移



利用者数20年間の推移 (年度別延べ人数)

		H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	合計								
入所	国立あおやぎ苑 本館・縄文棟	入所	42,916	46,669	47,541	48,400	48,791	48,082	48,091	47,366	47,000	47,813	48,511	48,650	49,122	56,396	87,270	90,875	91,363	90,993	89,986 1,125,835								
	短期入所	2,149	3,338	3,120	3,106	3,109	3,034	2,681	3,773	4,100	4,850	4,123	3,570	2,750	3,430	3,859	3,567	2,911	3,065	2,622	63,157								
	国立あおやぎ苑立川	入所					45,992	49,786	49,633	50,000	50,913	51,805	52,016	51,351	52,397	50,928	51,595	52,163	51,587	51,299	711,465								
	短期入所						771	765	848	880	1,183	1,484	1,784	1,913	1,331	1,180	1,224	1,312	1,252	1,187	17,114								
	ケアハウス国立	入所																			12,794								
	ケアハウス立川	入所																			12,190								
通所	グループホームあおやぎの家	入所	2,360	3,263	3,285	3,240	3,268	3,072	3,149	3,200	3,202	3,257	3,178	3,172	3,194	3,151	3,176	3,193	3,152	3,330	56,842								
	グループホーム立川富士見町の家	入所						2,686	3,285	3,250	3,200	3,250	3,120	3,130	3,189	3,264	3,261	3,224	3,241	3,283	3,290 44,673								
	国立あおやぎ苑 本館 縄文棟		6,421	9,413	11,498	13,274	14,301	13,220	13,936	14,162	15,000	16,825	18,117	19,446	19,709	22,211	25,605	26,347	27,400	26,940	27,366 341,191								
	国立あおやぎ苑立川							3,801	5,985	8,893	9,800	11,889	11,876	13,270	12,848	13,535	13,653	14,385	13,885	14,480	15,778 164,078								
	谷保デイサービスセンター								2,236	3,313	5,800	4,651	5,036	5,579	7,309	8,664	9,283	9,097	10,056	10,299	11,016 92,339								
	立川南口デイサービス										3,258	4,588	5,914	6,336	6,862	6,908	6,936	6,704	6,119	6,468	60,093								
訪問	八王子デイケアセンター											639	5,383	8,378	8,629	9,318	9,826	8,928	9,349	10,474	70,924								
	国立あおやぎ苑 本館 縄文棟							417	544	700	1,112	2,136	2,243	2,561	2,583	2,910	3,356	2,919	3,417	3,388	28,286								
	リハビリ	国立あおやぎ苑立川								160	150	172	295	419	423	398	325	247	203	333	426	3,551							
	相談	富士見台介護相談センター			311	1,005	1,282	1,105	724	678	860	1,415	1,892	2,352	2,591	2,956	3,186	3,479	3,633	3,753	3,932	35,154							
	相談	国立あおやぎ苑立川介護相談センター						304	855	1,000	1,404	1,621	1,863	1,957	1,921	1,821	1,809	2,081	2,234	2,413	21,283								
	訪問介護	訪問介護ステーション															3,898	6,852	7,108	7,009	5,761	7,660 38,288							
通院	みのわ通りクリニック																	496	2,075	5,573	6,645	7,995 22,784							
	健康診断	八王子健康管理センター																	43,147	43,683	42,862	44,089	46,263	46,655	47,642	48,192	49,523	50,591	462,647
	合計		51,486	61,780	65,733	69,070	70,723	121,959	131,282	153,244	159,660	213,024	220,123	229,659	235,668	255,932	294,631	303,818	308,616	309,825	328,455	3,584,688							

第一期決算と現在の財産目録

開設前の事業計画(老人保健施設)

総事業費	
建設費 (設計料含む)	1,035,500 千円
什器備品購入	124,500
運転資金	140,000
計	1,300,000
資金調達	
補助金 (国)	164,000 千円
助成金 (都)	526,000
社会福利医療事業団借入	349,000
多摩中央信用金庫借入	160,000
リース	95,200
自己資金 (出資金)	5,800
計	1,300,000

初年度の財産目録

項目	内訳	金額
I 基本財産	建物 (老人保健施設)	352,361,723
II 通常財産		224,002,168
1 (流動資産)		(195,263,981)
現預金		106,770,235
棚卸資産		563,225
仮払金		7,583
未収入金	国保連、社会保険支払基金	87,922,938
2 (固定資産)		(22,488,910)
(有形固定資産)		(21,353,150)
車両運搬費	送迎用マイクロバス2台、他1台	5,167,445
工具器具備品		16,185,705
(無形固定資産)		(305,760)
電話加入権		305,760
(その他の資産)		(830,000)
出資金	多摩中央信用金庫	500,000
敷金		330,000
3 (繰延資産)		(6,249,277)
創業費		203,011
開業費		6,046,266
資産合計		576,363,891
II 負債		
1 (流動負債)		(122,391,754)
支払手形		101,281,400
短期借入		2,800,000
未払金		16,846,158
預り金		1,464,150
仮受金		46
2 (固定負債)		(509,000,000)
長期借入金		509,000,000
負債合計		631,391,754
差引純資産		△ 55,027,863

平成20年の財産目録

項目	内訳	金額
1 (流動資産)		(434,957,135)
現預金		86,083,107
棚卸資産		654,834
立替金		10,000
仮払金		42,665,282
未収入金	国保連、社会保険支払基金	300,209,539
前払費用		7,135,630
貸倒引当金		△ 1,801,257
2 (固定資産)		(2,085,518,727)
(有形固定資産)		(601,375,960)
建物		387,654,561
建物付属設備		53,648,997
構造物		1,461,912
機械装置		3,160,324
車両運搬費		30,104,973
工具器具備品		1,008,112,000
土地		(1,421,154)
(無形固定資産)		(817,620)
電話加入権		603,534
ソフトウェア		
(投資等)		(406,177,000)
出資金		3,001,000
敷金		301,981,000
保証金		101,195,000
3 (繰延資産)		(37,570,849)
商法上の繰延資産		4,450,000
税法上の繰延資産		33,120,849
資産合計		2,965,644,865
II 負債		
1 (流動負債)		(34,362,268)
未払金		140,683
未払費用		30,399,960
仮受金		1,138,824
預り金		1,959,665
未払法人税等		358,836
未払消費税等		384,300
2 (固定負債)		(2,921,280,875)
長期借入金		2,921,280,875
負債合計		2,955,643,143
資本 (正味資産)		10,001,722
負債・資本合計		2,965,644,865
差引純資産		10,001,722
自己資金比率		0.03%

*1. 貸借対照表から直接控除されている固定資産圧縮額 1,415,064,284
 *2. 貸借対照表から直接控除されている減価償却累計額 487,457,740

平成30年の財産目録

項目	内訳	金額
1 (流動資産)		(1,072,023,393)
現預金		184,305,998
棚卸資産		11,189,210
立替金		0
仮払金		110,910,882
未収入金	国保連、社会保険支払基金	745,790,365
前払費用		20,415,408
貸倒引当金		△ 588,470
2 (固定資産)		(6,520,447,869)
(有形固定資産)		(6,044,596,043)
建物		2,692,277,835
建物付属設備		579,810,998
構造物		35,400,244
機械装置		8,611,984
車両運搬費		35,827,181
工具器具備品		49,829,485
土地		1,865,647,354
建設仮勘定		775,516,562
その他		1,674,400
(無形固定資産)		(28,323,935)
電話加入権		817,620
ソフトウェア		27,506,315
(投資等)		(447,527,891)
出資金		3,011,000
敷金		204,051,960
保証金		178,643,000
その他		61,821,931
3 (繰延資産)		(109,391,799)
商法上の繰延資産		109,391,799
資産合計		7,701,863,061
II 負債		
1 (流動負債)		(1,746,880,189)
未払金		155,389,106
未払費用		10,754,420
仮受金		22,253,663
預り金		0
未払法人税等		0
未払消費税等		0
短期借入金		1,558,503,000
2 (固定負債)		(4,488,578,049)
長期借入金		4,488,578,049
負債合計		6,235,458,238
資本 (正味資産)		14,000,000
負債・資本合計		6,249,458,238
差引純資産		1,466,404,823
自己資金比率		19.0%



Chapter 2

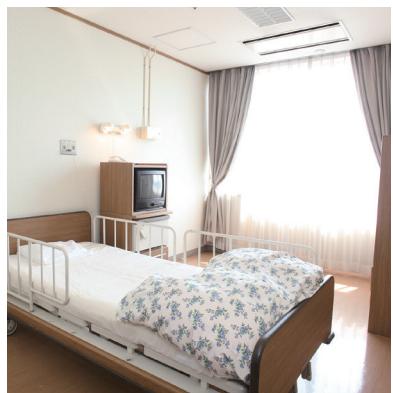
身近な介護サービスの主体として

地域の身近な介護サービスを主体として 地域一番を目指した開設当初からの方針



もしもの不安を安心に、 緊急ショートステイの受け入れ

ショートステイは、急に介護が必要になったご家族の方や、病院にとっても大切な受け入れ先です。ご家族様にとって介護は突然やってくることも多く、受け入れ先がないと不安が募るばかりです。それを解消する為にもベットコントロールは大変でしたが開設当初から常に空床を確保し、介護保険制度が改正されてショートステイベットと入所ベットの区分がなくなってもショートステイ用の空床を確保するようにしています。



開設準備中に多く相談を受けた、 認知症専門棟の設置

開設準備中、認知症があり、ご自宅での介護が困難なご家族からの相談には特に積極的に対応しようとと考え、それまで東京都内の介護老人保健施設では少なかった認知症専門棟を設置しました。

現在では、介護老人保健施設 国立あおやぎ苑本館に46床、国立あおやぎ苑立川に48床、そして認知症専用のグループホームが2施設(各9床)あり、合計112名の方が入所ができます。



【全国】介護老人保健施設+通所リハビリテーション利用者定員数 上位

	介護老人保健施設	所在地	入所定員	通所リハビリ定員	合 計
1	都ケアセンター	静岡県浜松市	405名	20名	425名
2	介護老人保健施設 国立あおやぎ苑	東京都国立市	266名	120名	386名
3	介護老人保健施設 MT奈多ケア院	福岡県福岡市	300名	50名	350名
4	介護老人保健施設 あじさいガーデン伏見	京都府京都市	276名	60名	336名
5	豊明老人保健施設	愛知県豊明市	298名	10名	308名

【東京都】介護老人保健施設+通所リハビリテーション利用者定員数 上位

	介護老人保健施設	所在地	入所定員	通所リハビリ定員	合 計
1	介護老人保健施設 国立あおやぎ苑	東京都国立市	266名	120名	386名
2	水野介護老人保健施設	東京都足立区	218名	40名	258名
3	介護老人保健施設 ふれあいの里	東京都府中市	180名	70名	250名
4	介護老人保健施設 サルビア	東京都日野市	165名	80名	245名
5	介護老人保健施設 けんちの苑すみだ川	東京都荒川区	205名	40名	245名

参考資料 公益社団法人 全国老人保健施設協会 会員名簿 平成30年8月15日現在

通所リハビリテーションは 都内最多の120名の受け入れ

地域に身近なサービスとしてご希望の高い通所リハビリテーションは、開設当初からリハビリテーション専門職を基準より多く雇用し、利用者定員数も30名でスタートさせましたが、すぐに50名・80名へと拡大しました。地域での必要性の高さを肌で感じました。

また、訪問リハビリテーションは平成15年の介護報酬改定で老健施設からの訪問リハビリテーションが認められるようになり、平成16年4月からスタートしました。リハビリテーションは、あおやぎ苑と地域の在宅介護が必要な方をつなぐ重要な役割も果たしています。





Chapter 2

さまざまな取り組み

安心・安全な生活への取り組みを 続けています。



介護施設として、地域での使命を果たすべく、
時代に対応したフレキシブルな運営にチャレンジしています。

小さなエンターテイナーによる新しい介護予防支援のカタチ コミュニケーション パートナー ロボット PALRO

2015年に国立あおやぎ苑に来たコミュニケーション ロボット パルロは利用者様の機能改善をサポートしています。

小さなロボットが話しかけてくれるという新鮮な喜びが、部屋から出るきっかけになったり、ゲームやダンスを通しての運動、またパルロがいることで利用者様同士の会話の促進にもつながっています。

上記写真:対話ロボット・パルロ、フランス民法テレビ局の取材。



災害時の緊急時対応 (災害活動相互応援協定) 広域的な協力体制で災害時の安心を

平成15年に国立市にある3つの介護施設との間で災害活動相互応援協定を締結し、緊急時の協力体制の確立、高齢者の受け入れ、物資の供給など、市・消防署連携を取り活動しています。(現在は4施設[あるふあ国立/国立あおやぎ苑/くにたち苑/シルバーハイツ谷保])



機械と融合した新たな支援スタイル

ロボットスーツ HAL

2014年に導入したロボットスーツ HALは、立ち座りや歩行動作が難しいと感じる方が装着することで、皮膚表面につけたセンサーが感知し本人の意思そのままの自然なアシストが実現されます。機械であるうえ特性上、国立あおやぎ苑では安全性を十分に考慮しながらリハビリテーションの場で活用されています。



苦情対策委員会



委員長 中川 進

当委員会は、ご利用者様からの声をより良い方向に反映するべく設置されました。家族懇談会の開催や意見箱を設置し、皆様のお声を頂き改善していくことで利用者様が快適に生活できるよう対策しています。

抑制廃止委員会



委員長 壱岐 健二郎

身体拘束の廃止を実現していく為に設置されましたが、現在は身体拘束は行っておりません。身体の拘束の弊害を認識し、抑制しなくてはすむケアの工夫を行ない、抑制のない安全で安心した生活の中で、尊厳を支えるケアに努め、日々、ケアの質の向上を目指しています。

行事委員会



委員長 成澤 望

個性豊かな行事を各フロアーが、毎月行っています。三大行事(花見・納涼祭・クリスマス)では、全職員参加し多くの家族の参加もあり楽しく盛り上がっています。これからも新たな行事をつくり、皆様の笑顔が頂けるよう頑張ってまいります。

苑内感染防止委員会



委員長 壱岐 健二郎

全職員が感染防止対策を把握し、予防・早期発見、発生の対応・夢延防止など、対策に則った医療、介護を提供できるよう、感染防止の実習や講義の研修を開催し、衛生管理の徹底や衛生的なケアに努めています。

栄養委員会



委員長 小口 晴美

季節に合わせた美味しいバランスの取れた衛生的な食事提供を目指します。ご利用者様への栄養摂取を支援し、早期回復、QOLの改善及び治療効果の向上へと繋げます。

防災管理委員会



委員長 山本 宏美

- 施設内の防火管理や防災対策の強化を目的とし、毎月、防災委員会を開催しています。
- 自衛消防訓練は消防隊員と一緒に、年2回開催（日中、夜間想定）・通報訓練・消火訓練・避難訓練

安全管理委員会



委員長 壱岐 健二郎

委員会のメンバーは施設長をはじめ、介護、看護、リハビリ、栄養、ケアマネと多職種で成り立っています。各部署で起こる事故や、ヒヤリ・ハットの共有、再発防止策について議論をし、利用者様が安全な生活を送れるように努めています。

ボランティア委員会



委員長 鈴木 渉

現在国立あおやぎ苑では、主に国立市を中心とした、たくさんの地域のボランティアさんのご協力のもと、様々な活動を提供させて頂いています。今後も地域と連携し、利用者様が笑顔になれる時間を作りたいと思います。



Chapter 2

充実したリハビリテーション

一人ひとりのニーズ・目標に沿ったリハビリプランで
一日も早い家庭復帰の実現に努めます。



国立あおやぎ苑
リハビリテーション課
末岡 広光
(言語聴覚士)

リハビリ課の今昔

私が入職した頃は、リハビリ課の職員もわずか5名で、職員室には一人一人机が用意されていました。それから約17年…。介護保険制度の改定などを重ね、いまでは31名の大所帯となりました。気付けば自分のスペースは35cm×25cmのメールボックス1つ分だけ。あの時の家族みたいな和やかな雰囲気も良いけれど、毎日賑やかで活気あふれる、いまのリハビリ課が一番です。

これからも、皆様の期待に応えられるよう、リハビリ課一同努力を惜しまず頑張っていきます。



国立あおやぎ苑が取り組む 4つのリハビリテーション

1 入所リハビリテーション



機能訓練だけにとらわれず、生活期リハビリとして園芸教室や料理教室、屋外歩行の会、歌の会、茶話会、手芸、アロマテラピー等々、種類に富んだプログラムをご用意しています。

2 通所リハビリテーション



施設でのリハビリだけで完結することなく、直接担当者がご自宅を訪問し、ご本人やご家族のご希望や心配事に耳を傾けたり、生活環境を確認しています。より実生活で役立つリハビリを心掛けています。

3 短期入所リハビリテーション



施設から帰ってきたらしっかりと歩けるようになった、よくお話しするようになったと言われることを目指し、ご本人やご家族からのご要望になるべくたくさん応えながら、リハビリがより多く行えるよう取り組んでいます。

4 訪問リハビリテーション



ご自宅で行うリハビリは、環境設定など様々な問題にもすぐ対応でき、ご家族や他職種とも情報交換がしやすいのが特徴です。専任の職員を2名配置し、社会参加に向けた取り組みをすすめています。



みんなと笑顔で暮らしたい。 笑顔でつなぐ、苑内行事や地域イベントでの交流



私たちの笑顔が、みんなの笑顔につながる

国立あおやぎ苑では、たくさんの苑内イベントの開催や、地域のイベントに参加しています。

○苑内イベント

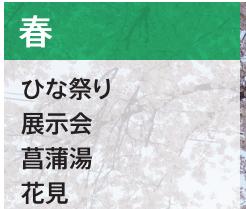
ご利用者様がいつも笑顔でいて頂けるよう工夫を凝らしたイベントを開催しています。3大イベントの花見、納涼祭、クリスマス会ではご家族の方々も沢山来苑して頂き苑内が笑顔であふれかえります。

○地域イベント

地域で開催されるイベントには、さくらフェスティバル、Link国立リレーマラソン、くにたち秋の市民まつり等に参加しています。当苑で結成した鳴子会ではよさこいソーランを秋の市民まつりで披露しています。他にも秋田県の物産品の販売や、仮装をしてのリレーマラソンに参加するなど皆様が笑顔になるような活動をしています。



国立あおやぎ苑 鳴子会

春	夏	秋	冬	
<p>ひな祭り 展示会 菖蒲湯 花見</p>  	<p>花火大会 納涼祭 七夕</p> 	<p>運動会 敬老会 柚子湯 ハロウィン</p> 	<p>節分 獅子舞 クリスマス会 キャンドルサービス</p> 	
春	夏	秋	冬	
		 <p>国立リレーマラソン</p>	 <p>さくらフェスティバル</p>	 <p>くにたち秋の市民まつり</p>



Chapter 2

受賞・表彰者



これは、介護老人保健施設の代表者
又は従事者として15年以上の業務に
精勤し、全老健及び支部活動並びに
地域の活動において功績が顕著である
者に贈られる表彰を受けました。

これは長年にわたり、介護と老人保健施設関係事業の発展向上に貢献し、老人保健福祉行政の推進に顕著な功績があったものに対して、厚生労働大臣が、その功績をたたえ、その功労に報いるとともに、老人保健福祉行政の推進に寄与することを目的としています。



この叙勲は自衛隊
中央病院副委員長
としての功績をたたえ
表彰されたものです。





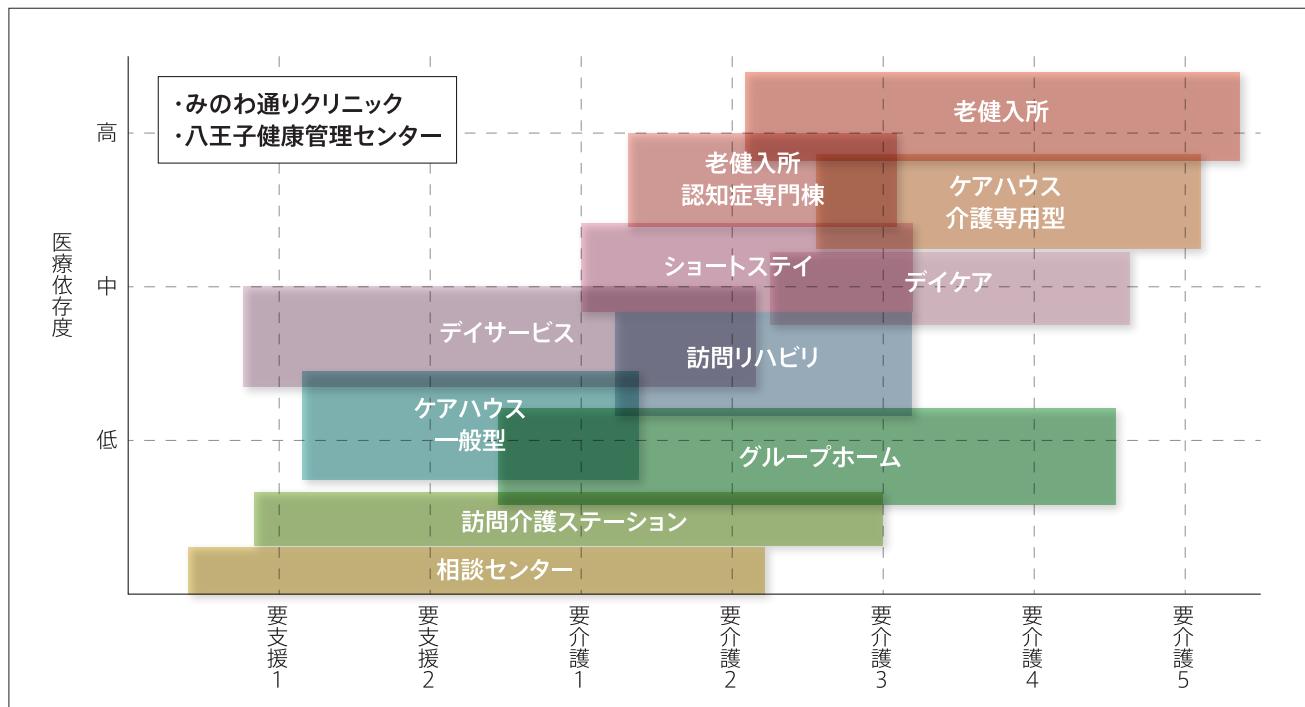


Chapter 3

事業所紹介

介護への不安は、国立あおやぎ会が応援します。

介護が必要になられた方やご家族様が、安心して落ち着いた生活をお過ごしいただけますよう、国立あおやぎ会グループ・提携医療先と連携して様々な介護・医療サービスを提供いたします。



介護老人保健施設

施設に入所し充実した医療ケアを受けながら日常生活への復帰をサポートする施設です。介護認定された方で、症状が安定し入院治療よりも在宅復帰に向けて介護、看護、リハビリテーション、栄養改善を中心とするケアを行います。

(国立あおやぎ苑本館/緯文棟/国立あおやぎ苑立川)

介護老人保健施設 認知症専門棟

認知症の為、日常生活に支障があり支援が必要な方に対し、専門的な認知症ケアへ取り組む為、認知症専門棟を配置ています。専門的介護、リハビリテーショ

ンを積極的に行っていきます。認知症であっても、普通に暮らせるよう支援いたします。

(国立あおやぎ苑本館/国立あおやぎ苑立川)

ショートステイ

短期間入所して日常生活の支援やリハビリを利用できます。ご家族の介護休養、冠婚葬祭、介護者の病気入院などの理由で短期間の入所を希望される方を支援いたします。ショートステイご利用中のリハビリもご利用できます。

(国立あおやぎ苑本館/緯文棟/国立あおやぎ苑立川)

通所リハビリテーション(デイケア)

日中に一定時間施設を利用するという点は通所介護(デイサービス)と同じですが、目的は「リハビリテーションをうけること」となっています。機能の回復に重点を置いたサービスです。送迎・入浴・機能訓練や余暇活動を行い在宅生活を支援します。

(国立あおやぎ苑本館/縄文棟/国立あおやぎ苑立川/八王子デイケアセンター)

グループホーム(認知症対応型)

認知症高齢者が食事づくり・洗濯などの少人数の共同生活により、認知症状の進行を遅らせお互い助け合いながら専門スタッフとともに日常生活の自立を支援します。

(あおやぎの家/立川富士見町の家)

訪問介護

お一人暮らしや、ご家族さまが食事や身の回りの世話をを行うのが難しい場合など、ヘルパーがご自宅に伺い、食事や入浴、買い物などのお手伝いをします。また、介護保険外サービスのご利用もお受けしております。お一人おひとりの生活に合ったお手伝いをさせていただきます。

(訪問介護ステーション)

ケアハウス(介護専門型)

ご自宅での生活が難しく介護が必要になられた方が安心して快適にお過ごしいただける、全室個室タイプの介護付高齢者施設です。お食事や入浴、排せつ介助、療養生のお世話、機能訓練などが受けられます。

(ケアハウス国立あおやぎ苑)

訪問リハビリ

医師の指示に基づき理学療法士や作業療法士、言語聴覚士がご利用者のご自宅を訪問し、心身機能の維持回復および日常生活の自立を助けるために理学療法、作業療法その他言語聴覚士が必要なリハビリテーションを行います。

(国立あおやぎ苑本館/縄文棟/国立あおやぎ苑立川)

通所介護(デイサービス)

小規模施設で個々のリハビリプログラムを作成し、個別リハビリ、物理治療、パワーリハビリ機器などを使用したリハビリテーションを行っています。送迎・機能訓練や余暇活動を行います。在宅介護をしている家族の負担を軽減いたします。

(谷保デイサービスセンター/立川南口デイサービスセンター)

ケアハウス(一般型)

自立した独立生活に対する不安のある比較的軽度な要介護状態の高齢者を受け入れています。居室が全て個室となっており、ご自分の生活スタイルにあった暮らしができる施設です。介護が必要なときには訪問介護や通所介護などの在宅サービスを利用します。

(ケアハウスあおやぎ苑立川)

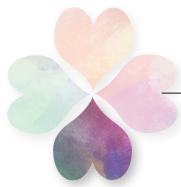
介護相談センター

ご自宅で、安心して生活を過ごしていただくために、介護を必要とされている方、介護をされているご家族の方とともに、介護支援専門員(ケアマネジャー)が、その方にあった自立支援を意識した支援計画を作成いたします。

(富士見台介護相談センター/国立あおやぎ苑立川 介護相談センター)

提携・協力施設

国家公務員共済組合連合会立川病院 / 医療法人財団立川中央病院 / 医療法人財団根岸病院 / 赤木歯科医院 / 松浦訪問歯科 / 医療法人社団 潮友会 うしお病院 / QOL向上を支援する会



Chapter 3

事業所紹介

本館 國立あおやぎ苑

介護老人保健施設

入所(一般)	100床
入所(認知症)	46床
ショートステイ	
デイケア	定員80名
訪問リハビリ	

1998年10月12日の開設以来、老人介護保健施設として住民の介護に伴う諸問題に対して「親切」・「誠実」・「積極的な対応」を心がけ、施設利用者が自立した生活を送れるよう支援し在宅復帰を実現してまいりました。介護を必要とされている皆様が安心して利用できる施設を目指しております。



施設長

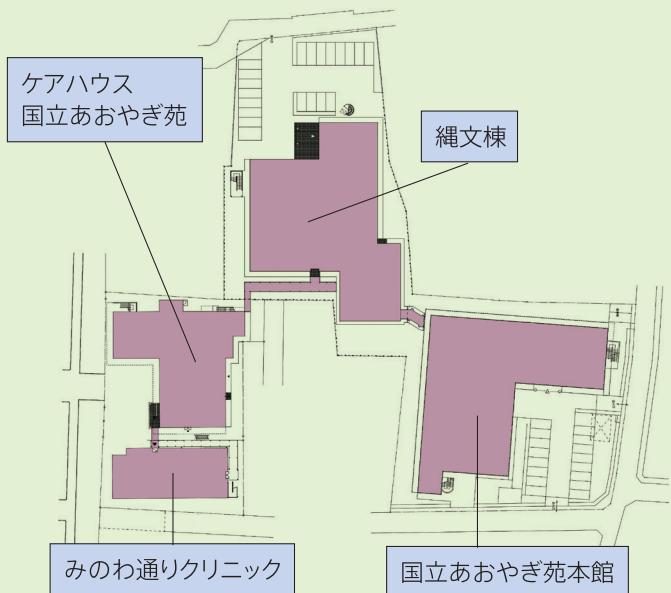
壹岐 健二郎

入職日 H14.11.1

創立20周年を迎えて一言ご挨拶を申し上げます。当施設は現在、本棟、縄文棟を合わせて266床と大きくなり、さらに訪問リハビリ、看取り(ターミナルケア)も行っています。目下、来るべき25年問題、未曾有の超高齢・多死社会に対応すべく準備しておりますが、一番必要とされる人手の不足が深刻である事が現状です。しかし、この2つの難局に立ち向かいつつ、入所者様及びそのご家族様のご要望に正面から取り組み、スタッフ一丸となり出来得る限りの質の良い心のこもった介護を目指しております。そして、この施設が皆様から、やすらぎの郷と太鼓判を頂けます様に日々邁進して参る所存です。



あおやぎ苑全体図



平成10年 国立あおやぎ苑 開設
平成15年 縄文棟 増設
平成17年 みのわ通り国ニック 開設
平成30年 ケアハウス国立 開設





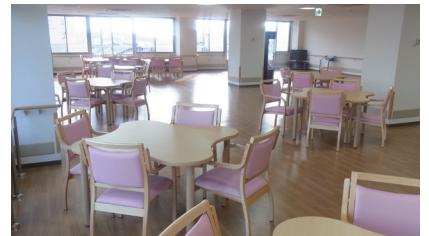
Chapter 3

事業所紹介

繩文棟 国立あおやぎ苑 介護老人保健施設

入所(一般) 120床
デイケア 定員40名
ショートステイ

平成25年12月に老人介護保健施設 国立あおやぎ苑本館に隣接する増設棟として開設いたしました。地域の介護ニーズに応えるべく、不足しているショートステイベットを大幅に増大する為に計画したものです。今後とも地域のニーズに合わせ地域になくてはならない施設を目指していきます。



緑 川東遺跡で出土された石棒が 国の重要文化財へ

2017年3月に国の重要文化財に指定

国立市の緑川東遺跡(国立市青柳1・3)から出土した4本の大型石棒が、国の重要文化財に指定される見通しとなった。

今回、重要文化財への指定が予定されるのは、同遺跡から出土した「石棒4本と土器残欠3点」。3月10日に開かれた文化庁の文化審議会文化財分科会の文部科学大臣への答申を受け、官報告示をもって正式に重要文化財に指定される。同市所有の文化財としては初の重要文化財指定となる。

緑川東遺跡は、これまでに5回の発掘調査が行われており、旧石器時代、縄文時代、奈良・平安時代、中世、近世の遺構や遺物が検出される複合遺跡。2012年6月～7月に実施された同遺跡第4次調査で、縄文時代中期末～後期初頭の敷石遺構1基、竪穴状遺構2基、竪穴住居(推定)1基、土坑2基、集石土坑9基、ピット50基が発掘され、敷石遺構の床面に祭祀(さいし)儀礼に使われる大型石棒4本がほぼ完全な形で見つかった。

石棒は土偶と並んで縄文時代の祭祀儀礼の道具として使われたとされるが、「まつりごと」の際に焼かれ、壊さ

れた状態で出土することが多い。同遺跡で出土した石棒は、ほぼ完全な形で、1メートルを超す大形のものが4本並べ置かれた状態で出土したことから、「縄文時代の石棒祭祀の具体的なあり方を考える上で極めて高い価値がある」と評価されている」という。

現在、「くにたち郷土文化館」(谷保)で、同石棒2本の展示を行っている。4月18日～5月7日に「東京国立博物館」(台東区)で開催される「平成29年新指定国宝・重要文化財」展での公開も予定する。同博物館での公開終了後の5月下旬からは、同郷土文化館で4本の石棒がそろって展示される予定。石棒は、貸し出し時以外は同郷土文化館で常時展示するほか、今秋には石棒に関連した企画展も予定する。

国立市文化財担当者は「国立市が所有する文化財としては初めての重要文化財となるので、非常にうれしく思っている。くにたち郷土文化館にお越しいただき、実物をご覧いただければ」と呼び掛ける。

立川経済新聞(2017年3月31日)より抜粋





Chapter 3

事業所紹介

立川 国立あおやぎ苑 介護老人保健施設

入所(一般)	103床
入所(認知症)	48床
ショートステイ	
デイケア	定員65名
訪問リハビリ	

当法人2か所目の介護老人保健施設として平成16年12月に開設いたしました。

多摩川の河川敷に面し緑が多い環境で地域に開かれ施設として、在宅復帰・総合的なケアなど質の高い介護サービスを提供し、皆様に安心して利用いただけるような施設を目指しております。



事務長 中川 雅人 入職日 H17.2.1



平成17年に入職し13年が経ちました。秋田から来た当時は大変でしたが、今は事務長として立川地域の老健、ケアハウス、グループホーム、相談センターを担当させて頂いています。今後とも宜しくお願ひ致します。

施設長 佐伯 剛 入職日 H29.5.1



大過なく20周年の節目を迎え、当苑スタッフは「今ここに生きて生活しているという事実!」にこそ最も価値があると考えています。私たちは、利用者の現在有する能力に応じて自立した日常生活をおくれるよう、施設サービス計画に基づいて、最大限の努力をしております。医学的管理下でのリハビリテーション、看護、介護、その他の日常的に必要とされる医療や生活上の世話をを行い、自宅で生活復帰を可能とするものです。「労わり」と「思いやり」を旨とし、地域や家庭との結びつきを重視し、明るい笑顔で「ありがとう」と感謝して頂けるような施設をこれからも目指してゆきたいと思います。

認知症高齢者のグループホームとして平成13年4月に開設いたしました。

立川段丘崖の崖下から湧き出す綺麗な湧水の流れる矢川のほとりで「人としての尊厳や権利を損なわず、その人らしい生き方ができるよう」にご家族の皆様と共に入居者様の共同生活をサポートします。



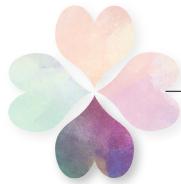
認知症対応型 グループホーム あおやぎの家

グループホーム 認知症 9床
共用設備
 エレベーター・キッチンダイニング・
 トイレ2・浴室
個室設備
 ベッド・洗面台・クローゼット・
 ナースコール



ホーム長 飯田 真広 (介護福祉士) 入職日 H16.5.1

あおやぎの家は定員9名の家庭的な事業所です。生活の中で家事等の出来ることを利用者の皆様と行い。役割を担いながら自立した生活が送れるように支援しています。近隣には自然も多くある為、毎日の散歩、地域のこども達との交流、お祭りへの参加など利用者様が毎日楽しく地域の一員として、地域との関りが持てるよう支援しています。



Chapter 3

事業所紹介

富士見台 介護相談センター

指定居宅介護支援事業所

平成14年4月に国立市富士見台に開設しました。介護支援相談員（ケアマネージャー）が介護が必要な方の心身の状態などに応じた居宅サービス計画（ケアプラン）を作成いたします。ご利用者様のご希望や心身の状態、ご家族様の要望などを踏まえ、適切なサービスが利用できるようにお手伝いいたします。



相談

9:00～17:30

日・祝日休み

- ・ケアプランの作成
- ・要介護認定の申請代行

所長 有田 元康 (介護支援専門員) 入職日 H19.12.1



富士見台介護相談センターは、今年で17年目を迎えました。現在、国立市内では一番大きい事業所として、ケアマネージャー8名在籍。300名以上のご利用者様を担当させて頂いております。

母体である国立あおやぎ苑が20年間掛けて地域に根ざし築き上げた信頼を同市内の事業所として日々、身近に感じながら業務に努めています。当事業所も地域の方々と共に成長し続けて行ければと考えております。

平成17年5月に開設した通所介護事業所は、桜の名所でもある国立市のさくら通り近くにあります。午前・午後の半日利用として通所リハビリが主体です。また、余暇活動では利用者様お一人おひとりが、好きなこと・やってみたいことを選び楽しんでいただいています。



ご挨拶・祝辞

開園よりのあゆみ

事業所紹介

振り返って

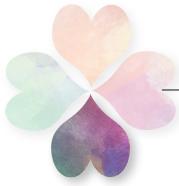
谷保 通所介護事業所 デイサービスセンター

デイサービス 定員48名
9:15~12:30 24名
13:15~16:30 24名
土日休み
個室設備
レクリエーションスペース・
パワーリハビリテーション機器

所長 栗原 瑞枝 (介護福祉士) 入職日 H16.8.16



パワーリハビリやリハビリ専門職、物理療法機器等、充実した設備を有し、個々に合わせたリハビリプログラム実施すると共に利用者様の心身機能の維持・向上を図り、自立した日常生活を営めるよう必要な介護及び個別機能訓練・口腔機能向上などの援助を行います。個々の利用者様に応じた自立日常生活が営めるよう利用者本位の通所リハビリ、日常生活の介護、そして介護予防に取り組んでいます。また、地域との交流・地域への貢献活動、そして新総合事業の支援活動など明るく楽しい機能訓練の場になるよう常に心がけています。



Chapter 3

事業所紹介

立川南口 通所介護事業所 デイサービスセンター

デイサービス 定員30名

9:30~13:00 15名

13:30~17:00 15名

土日休み

個室設備

コミュニケーションスペース・

パワーリハビリテーション機器

平成20年11月に立川南口より歩いて5分程の閑静な住宅街に開設された通所介護事業所です。機能訓練指導員によるリハビリテーションを中心に看護・介護職による体調管理、生活相談員による他事業所との連携など、各職種が一体となって小規模事業所介護ならではの細やかなサービスの提供を心掛けています。



所長 百瀬宣次 (介護福祉士) 入職日 H22.1.11

日々利用者の方と接する中で「ここに来ると体も心も軽くなる」といわれることがあります。当事業所が必要とされいていることを実感できる瞬間です。

誰でも住み慣れた場所での生活を望んでいます。その手助けをすることが私たちに求められていることであり、これまで同様、これからも地域に必要とされる場所でありたいと思います。

平成21年4月に事業承継した健康診断施設です。社会保険八王子健康管理センターとして、平成3年に開院し八王子市を中心に周辺地域の住民の皆様・事業所の皆様に人間ドック・生活習慣病予防検診・特定健診・特定保健指導などを実施し、多くの皆様に受診していただいております。



八王子 健康管理センター

診療所

- ・生活習慣病予防検診
- ・各種人間ドック
- ・一般健康診断
- ・二次検査
- ・一般外来診療



常勤理事 岩佐利明 入職日 H21.4.1

都内近県を中心の人間ドック・生活習慣病・オプション検査等の渉外活動をしています。平成29年3月には新しい健診車を稼働させ、施設に来られない事業所の方に、施設内と同じ内容の健診を行っています。

八王子健康管理センターでは、快適な健康診断を一人でも多くの方に利用して頂きたいと思っています。あおやぎ会の健診部門である当センターを宜しくお願ひいたします。



Chapter 3

事業所紹介

八王子 デイケアセンター

通所介護事業所

デイケア 定員60名
9:50~16:20

個室設備
レクリエーションスペース・
パワーリハビリテーション機器・
機器浴

平成22年11月に目の前を浅川が流れる絶好のロケーションである八王子健康管理センターの3階にデイケアセンターを開設いたしました。充実したリハビリ機器や車いすの方も安心して入浴できる設備を備えており、天井が高く、大きな窓から明るい日差しが差し込む広いフロアで利用者の皆様がリハビリや、入浴、レクリエーションを行っています。



所長 山本 勇 (介護支援専門員) 入職日 H19.3.1

平成22年に開設し、当初は全く知名度もありませんでしたが、地域の皆様の多大なご協力を頂くことで、今年11月で丸8年となります。なによりリハビリやデイでの生活に前向きな利用者様と、国立あおやぎ会全体でのご支援があってとのことと感謝をしております。

今後もますます地域に根差したお客様へのご支援を続けてまいりたいと思う所存です。



平成13年4月に国立あおやぎ苑の隣に開設しました。現在は国立市のさくら通り沿いに移転しています。ヘルパーがご自宅にお伺いし、家事援助や入浴、通院介助など、お一人おひとりの生活に合ったお手伝いをさせていただいています。介護保険外サービスのご利用もお受けしております。



訪問介護事業所 訪問介護ステーション 国立あおやぎ苑

訪問介護

8:45~17:30

年中無休

・身体介護サービス

食事介助・排泄介助・入浴介助
衣類の脱着の介助・身体の清拭
通院の介助など

所長 高橋由香里 (介護福祉士) 入職日 H25.4.11

一住み慣れた我が家で暮らすお手伝いー

国立あおやぎ苑が20周年を迎えました。訪問介護ステーションは5周年です。今までたくさんの利用者さんと出会いました。皆さんが言ってくれる言葉は「いつも、ありがとうね」とても励みになります。

天候の悪い日、暑い日も自転車をこいで、訪問して良かったと思います。これからもスタッフ一同「ありがとうね」の声に会いに、頑張っていきたいと思います。





Chapter 3

事業所紹介

みのわ通り クリニック

診療所

平成26年10月に開院した「クリニック国立あおやぎ苑」を前身として平成28年に「みのわ通りクリニック」にリニューアルし、患者様の暮らしの安心と健康促進のため診療サービス(内科・小児科・皮膚科)の充実に努めております。地域の皆様とのふれあいを大切にし、信頼される医療機関として地域医療に貢献してまいります。



診療所

月火木金 9:00~12:00
13:30~17:00

水土 9:00~12:00

診療科目／内科・小児科・皮膚科
病室／療養病棟17床



院長 檀 英二 (医師) 入職日 H28.1.1

早いもので、みのわ通りクリニックに来て2年半が過ぎました。それまでは田舎でのんびり開業していたので、最初は患者さんの質問や要望が多いのに戸惑いました。

腰痛やひざの痛みなどの整形の需要も多く、内科・整形外科・皮膚科・小児科と多岐にわたる診療範囲をカバーすることで、これからも患者様の幅広いニーズに応え地域医療に貢献していきたいと思います。

全室個室の介護専用型ケアハウスとして平成30年5月に開設いたしました。

ご自宅で生活が難しくなり、介護が必要になられた方が快適にお過ごしいただけるよう、お食事や入浴、排せつなどのケアやリハビリを受けられます。



介護専用型軽費老人ホーム ケアハウス 国立あおやぎ苑

ケアハウス(全室個室) 50床

共用設備
共同生活室・談話室・機能訓練室・
浴室・面談コーナー

個室設備
冷暖房完備・トイレ・洗面台・
ナースコール



施設長 上 濃 真由美 (介護支援専門員/介護福祉士/社会福祉主事) 入職日 H17.2.16

開設20周年を迎える記念すべきこの年に、国立あおやぎ会に新しくケアハウス国立あおやぎ苑がオープンいたしました。介護専用型ケアハウスはあおやぎ会にとっても初めての施設であり、開設から3か月経過した現在でも新しいことに取り組むことの大変さを日々実感しております。『地域の方々や、国立あおやぎ会をご利用して下さる全ての方が安心して暮らせるように』を目標として、ケアハウス国立あおやぎ苑も精進してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



認知症対応型
グループホーム
立川富士見町の家

グループホーム 認知症 9床
共用設備
エレベーター・キッチン・ダイニング・
トイレ2・浴室
個室設備
ベッド・洗面台・クローゼット・
ナースコール

認知症高齢者のグループホームとして平成17年1月に開設いたしました。
介護老人保健施設 国立あおやぎ苑立川に隣接しサービスの連携のもと、
そこに集まる高齢者の方々が地域の中の生活の場として安全に、明るく、
楽しく快く日々を過ごされるようご家族の皆様と共に支援いたします。



ホーム長 中 臺 福 代 (介護福祉士) 入職日 H14.9.2

富士見町の家は、賑やかで笑いが絶えません。皆様がお元気で若々しいと評判です。散歩コースの多摩川で富士山を眺め、残堀川と根川で四季を感じ、春には桜のトンネルで和み、月に一度のバスハイクでは外食も楽しめます。スタッフも懸命に利用者様に寄り添いサポートさせて頂き、笑顔を見るのが嬉しいです。ご支援してくださるご家族様、かかりつけ医の先生方、地域包括支援センター、立川市、福祉会館、町内の方達、園児たちとの交流、あおやぎ苑立川、ケアハウス立川、皆様には大変感謝しております。全てご縁。人との繋がりを大切にし、これからも宜しくお願ひいたします。

平成17年12月に立川駅近くに開設しました。在宅介護がご自宅で、安心して生活を過ごしていただくために、ケアマネジャーが、その方にあった支援計画を作成いたします。ヘルパーがご自宅に伺い、食事や入浴、買い物などのお手伝いをし、お一人おひとりの生活に合ったお手伝いをさせていただきます。



指定居宅介護支援事業所 国立あおやぎ苑立川 介護相談センター

相談

9:00~17:00

日・祝日休み

- ・ケアプランの作成
- ・要介護認定の申請代行

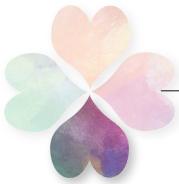


所長 本山理恵 入職日 H19.5.14

創立20周年を迎えたことは大変うれしく思い、いろいろな方のご支援があったからこそと実感しております。

私たちの仕事は、ご利用者様の立場に立って共に考え寄り添い、生活を支えていくことです。それには、ケアマネージャー1人では何もできません。

これからも地域、関係機関との「つながり」を大切に丁寧にご利用者様へ向き合っていきたいと思います。



Chapter 3

事業所紹介

国立あおやぎ苑立川 ケアハウス

軽費老人ホーム

高齢者が安心できる住まいとして平成19年3月に開設されました。介護老人保健施設 国立あおやぎ苑立川に隣接し、介護、栄養、リハビリ、相談の生活のあらゆるサービスの連携のもと地域の方にも開かれたケアハウスを目指していきます。



ケアハウス(全面個室) 50床
共用設備
エレベーター2基・食堂・浴室・
談話コーナー・相談室
個室設備
ベッド・洗面台・クローゼット・
ミニキッチン・ミニ冷蔵庫



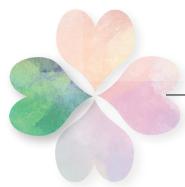
施設長 原田 幸治 入職日 H30.1.1

国立あおやぎ苑 20周年を迎えた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。ケアハウス 国立あおやぎ苑立川は平成19年3月に開設し、11年を迎えております。私は、平成30年1月より入職し、4月より施設長を任命されました新人で御座いますが自立型ケアハウスとしての役割を強く意識しながら改革を行っている所で御座います。

常に笑顔が絶えない明るく快適な施設運営を心掛け、ご利用者・ご家族が安心して過ごせる様、法人内の連携を強化して行く所存でございます。

Chapter 4
振り返って





Chapter 4

振り返って

20年を 振り返って



施設長

壹岐 健二郎

入職日 H14.11.1

医療法人社団 国立あおやぎ会は、お陰様で創立20周年の記念すべき節目を迎えることが出来ました。

これも偏に地域の多くの方々のご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。

私は当施設に勤務し16年余りとなります。きっかけは18年前当施設に伯母の見舞いに訪れた際、初代太田理事長とお会いして話をする機会がありました。その時に先生の仕事に対する意識はもちろんのこと、何よりお人柄に感銘を受けまして今日に至っています。

近年、超高齢化、多死社会となり、施設では御利用者の医療サービスの必要性の高まりや要介護者の重症化が見られ、ターミナルケアも増えており看護職や介護職、リハビリ職が果たす役割は益々重要となっています。その為に施設拡大はしかるべきだと思いますが、一番の問題は人手不足、特に肉体的・精神的にも大変な仕事に携わる介護士不足が深刻で早急なる待遇改善が望されます。

誰しもいつかは老いていくわけで、4人に1人が65歳以上となる日も間近、介護サービスが必要不可欠になるのは時間の問題だと思います。現状のサービスを充実させるには国の介護保険制度の見直し改正しか道はないと思います。

これからも御利用者が安心し満足して頂ける施設を目指し、皆様から「やすらぎの郷」と太鼓判を頂けますよう、現大富理事長のもとスタッフ一丸となって更なるサービス向上に誠心誠意努めて参りたいと思っております。



事務長

山本 宏美

入職日 H12.8.1

創立20周年を迎えたことは利用者様、ご家族様、地域の皆様方の

温かいご支援とご協力の賜物です。心より御礼と感謝を申し上げます。

平成12年8月に入職し19年となりました。今日まで国立あおやぎ苑を中心に、毎年のように事業所が増えて行き現在は14事業所となり、事業所が拡大する度に許可申請手続きのため、都庁の福祉保健局等に何十回も足を運び、都担当者も国立あおやぎ会の大発展を驚く程でした。

国立あおやぎ苑と縄文棟を合わせて入所定員266床、通所定員120名、職員数220名となり各種の専門職が専門性を發揮しつつ、全体が一つのチームとしてケアサービスに取り組んでおります。医療と介護の連携、地域共生社会の中心として国立あおやぎ苑が担う役割は大きく、これから多くの皆様のお役に立てると確信しております。利用者様に毎日を楽しく過ごしていただくようボランティアの方に来て頂いたり、毎回スタッフが工夫を凝らして年間行事を催しております。夏の納涼祭や地域交流の一つとして毎年盛大に行われる、くにたち秋の市民まつりでは、リハビリ課スタッフが中心に国立あおやぎ苑のオリジナル曲に合わせ、よさこいを披露させて頂いております。

いつも明るく施設を支えてくださっているスタッフの皆さんに感謝の気持ちです。これからもあたたかな施設づくりに努め、地域になくてはならない施設として期待に添えるよう日々努力をして行く所存です。



看護部長

羽牟 祐子

入職日 H12.11.16

19年前、40代で入職し、今ではなんと高齢者(65才以上)の仲間入りです。あの時、20代初めの職員たちも、高校や中学生の子供を持つ親となり、頬もしくあおやぎ苑の柱となってくれています。

10周年の時、「笑顔や笑い声が絶えない、やりがいのある職場にしていきます。」と公言し努めて参りました。今も少々にぎやかですが笑い声が絶えず、皆様から暖かい施設と言ってもらえてています。10年、20年と年を重ね、介護も高度となり、気力を失いそうになる時、皆様からの目差や言葉、仲間からの支えで、また立ち上がり、一歩また一步とみんなで歩を進めてまいります。

夢ややりがいを介護の世界に求めて来た職員たちが挫折することなく、楽しく働きやすい職場になっているか、日々自分に問い合わせながら努めて参ります。

あおやぎ苑を信頼し、最後の時期までもと選んで頂いた気持ちに応えるべく、職員一同、日々精進し、協力し合い、楽しく、やさしく温かい、あおやぎ苑での生活になるよう皆様のお力を借りしながら努めてまいります。

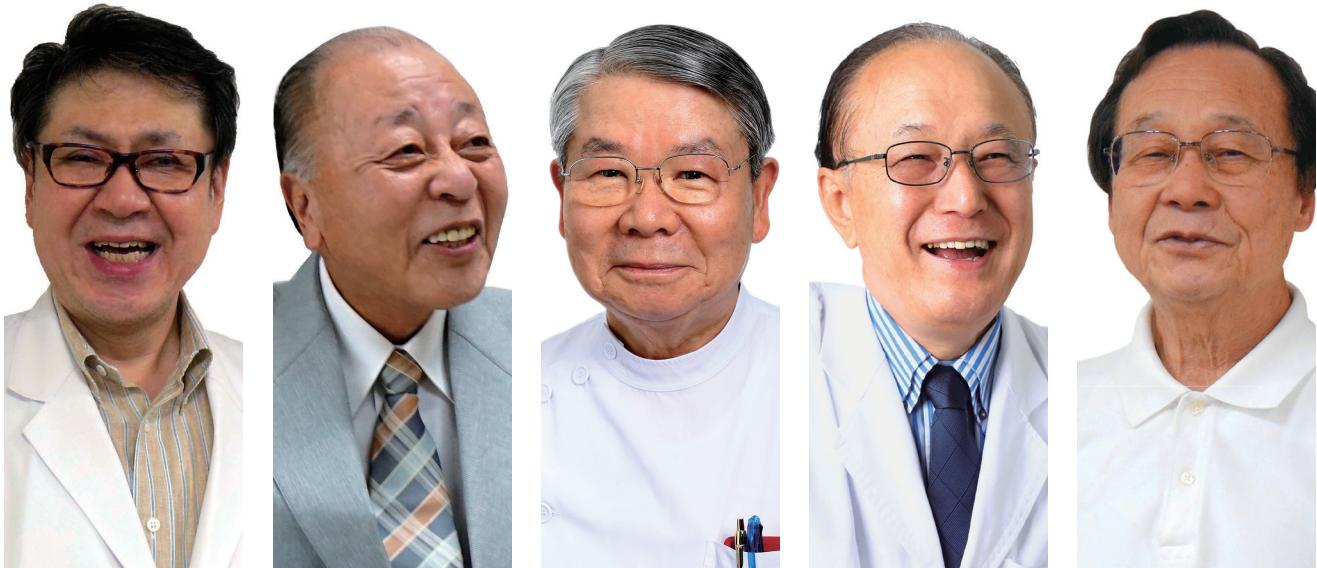


Chapter 4

振り返って

医局より

医局



看護部部長

羽牟祐子 (看護師)

入職日 H12.11.16

医局には5人の医師が在籍しています。理事長を筆頭にそうそうたる顔ぶれです。笑顔が素敵でフットワーク軽く、それぞれの専門分野をいかし、チームワーク抜群の5人集です。心もハンサムでやさしく親切です。お局のような私ですが、いつもやさしく助けてもらっています。ご相談・ご質問などありましたら、ぜひ声をかけてください。これからも、ご利用者様、ご家族様の信頼と安心を得られますよう、職員一同、精進・努力してまいります。

スタッフ

医師
大堀施安河
富岐里本
眞吾健二郎
国昭卓英徳也(非)

看護師
瀬瀬尾久子(看護部部長)
准看護師
山田もと子

リハビリテーション課より



課長

末岡 広光 (言語聴覚士)

入職日 H13.2.2



この素晴らしい節目に、職員として在籍出来たことを大変嬉しく思います。入職当初を振り返りますと、養成校を出たばかりの私は、諸先輩に「○○先生」と緊張しながら話し掛けていたことを思い出します。それでも業務のすすめ方などを丁寧に教えて頂いたことが、今もこうしてリハビリ業務を続けられる礎だと感謝しています。今後も強い団結力で皆様の信頼を厚くしていく所存です。

主任

丸藤京子 (作業療法士)

入職日 H15.5.6



平成15年5月に入職して早15年が過ぎました。その間、通所、訪問、入所、グループホームなど、たくさんの場所で多くの利用者様と過ごすことができました。

私も衰えを感じる年になりつつありますが、体力の続く限り皆様の生活がより良く過ごせるよう引き続き一緒にリハビリを行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

スタッフ

言語聴覚士 末岡 広光(課長)
木田 寿実
中原里七
北村 浩子

理学療法士 威和 啓太(課長代理)
小林 宏樹(主任)
末廣敦(主任)
徳永 上みゆき
小瀬川 真妙子

作業療法士 岩木島綾由智
小桜原佐橋
木島藤本
佐久間山香松
大次郎里美
大(主任)
尚平(主任)
恵広(主任)

岡長齋土佐竹
部尾藤屋木藤田
明宗佑太
代典介陽
えりな
美(非)佳(非)

介護福祉士 小林 薫
菅原峰尾
聖愛衣(非)

リハビリ助手 岡崎瑠衣(非)



Chapter 4

振り返って

通所リハビリテーション課より

通リハ



介護課長

河内伴哉 (介護福祉士)

入職日 H11.4.1

「通所リハビリの今とこれから」

通所リハビリは本館と縄文棟にて定員120名のご利用お待ちしております。日々、ご利用者様の安全を第一に送迎やリハビリ、入浴やレクリエーションを支援させて頂いています。今後ともご利用者、ご家族様、職員の「輪と笑顔」を大切に、ご利用者様に「また来たい」と感じていただけるような場所をつくりていきたいと思います。



介護課長代理

石川香織 (介護福祉士)

入職日 H23.9.11



入職して8年目となり、仕事上では責任ある立場になりましたが、入職時も今も変わらない想いは、利用者の方には笑顔で過ごしてもらいたいという事です。

数多くのイベントでも、職員だけではなく利用者の方もエンターテイナーとなり全力で楽しんでいます。「とにかく楽しく!!」を通所のモットーにし、今後も頑張ります。

スタッフ

介護福祉士	河内伴哉(介護課長) 内川香織(課長代理) 石川美由紀(主任) 川口絵梨(主任) 天野穂穂(主任) 浦俊介(安全管理者) 田光明(副安全管理者) 若理枝子 石塚千恵子 廣塚幸子 菅塚惠子	佐々木清菜 松崎香由 川嶋健太郎 段純子 内麗奈子 小順子 桑吉彦子 吉尾彦子	介護士	木尾崎香 木嶋健太郎 木嶋純子 木嶋麗子 木嶋順子 木嶋絹彦子 木嶋吉彦子 木嶋彦子	桑山宏子 市井みさ子 伊藤枝子 新妻惠美子 山本竜樹 木山美子 鈴木ケイ子	入浴介助	桑山典子(非) 田恬悟(非) 高橋守(非) 宮房幸(非) 脇房進一郎(非) 木町子(非) 木本時男(非) 木山三郎(非)
			准看護師	山尾ゆき子	ドライバー		

国立あおやぎ苑 本館2Fより

本館2F



看護部長代理兼介護課長

石井 洋暉 (介護福祉士)

入職日 H10.9.1

『皆様へ』

安全を優先するあまり、不自由な
思いをさせてしまっているかも知れ
ません。くだけた言葉使いで不愉快な思いをさせて
しまっている事もあると思います。

でも、根っここの部分にあるのは認知症という病気の
さまざまな症状を薬で制御するのではなく、『その人
らしく笑って生きてほしい』のです。

あなたの笑顔、お待ちしております。

本館二階 認知症専門棟職員一同

スタッフ

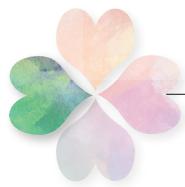
介護福祉士 石井 洋暉(介護課長)
赤羽高志(主任)
彌永将太(主任)
保谷涼太(主任)
山中優美子(主任)
松浦奈央(主任)

介護士 田中純平(主任)
幡野華澄
若松拓
腰越昇(非)

介護福祉士 松本悠奈
西瀬さやか
木間裕莉
遠結花

看護師 合田智加
野村恵美(非)

准看護師 川口利貴
小見山佳子(主任)



Chapter 4

振り返って

国立あおやぎ苑 本館3Fより

本館3F



介護課長

本山 祯次 (介護福祉士)

入職日 H16.9.1



3階棟は入所50名のフロアです。月に数回の音楽レクリエーションや行事として、昭和記念公園やタヒチビーチなどドライブでかけて国立や立川を周り周囲の変化を楽しんでいます。利用者同士の会話も多く、職員の名前を憶えてくださる利用者もいます。職員と利用者の距離が近く会話の多いフロアです。

看護課主任

中嶋 美浦 (看護師)

入職日 H14.5.1



設立20周年、心よりお祝い申し上げます。

ご縁があり入職して、周囲の皆様に支えて頂きました。その間に小さな「あおやぎ苑」が、今やみちがえる程の大規模な施設になりました。でも、昔のアットホームさを忘れずに、いつまでも、あたたかな場所でありたいと日々努めていきたいと思います。

スタッフ

介護福祉士	本山 祯次 (介護課長) のどか(主任) 学 (主任)	介護士	稻生 垂弥 (主任) 小林 梢乃子 (主任) 倉田 幸平	看護師	中嶋 美浦 (主任) 濱田 純理子 西平 美波
介護福祉士	深佐 東渡坂 阿鈴 戸口	山津藤原 過野 部木 戸口	晋作 登美子 碧衣 紗知 優峰子 良一	看護師	准看護師
	のりこ	のぶこ	のりこ	ひづる	まこと

国立あおやぎ苑 本館4Fより



看護課長

市川由美 (看護師)

入職日 H20.10.1



20周年、おめでとうございます。
入職して瞬く間に10年が経ちました。病院経験しか無かった私にとって老健は刺激的でした。ご利用者様、御家族様と密に接する事ができ、皆様との日常の触れ合いが何より楽しく、やりがいを感じております。

これからも皆様の健康と生活を守る一助になれるよう努力してまいりたいと思います。

介護課長

和田直紀 (介護福祉士)

入職日 H18.10.1

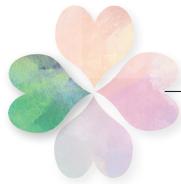


あおやぎ苑創立20周年おめでとうございます。
本館4階の特色は寝台浴があり座位が保てない方でも、ゆっくりと湯船に浸かることが出来ます。普段表情が固いかたの笑顔が見れることもあり非常に嬉しいです。

そして毎月のスペシャルランチに数多くのご家族様の参加を頂き、普段の生活では見られない表情やご家族団欒ならではの時間を過ごしています。

スタッフ

介護福祉士	和田直紀(介護課長) 本郷由佳子(主任) 成澤望(主任) 窪田哲哉(主任) 石丸道子 工藤哲 石井耶 清水優里子 清瀬克 近藤麗 大瀬夏	介護士	石藤吉彦 岸片鈴大 木山	愛啓万直 里生加奈枝 愛絵理	看護師	市川由美(看護課長) 村木理恵 関原玲子
		入浴介護	野澤昌子(非)		准看護師	小竹ひとみ



Chapter 4

振り返って

国立あおやぎ苑 縄文棟2Fより

縄文棟2F



介護課長
橋 口 希 生 (介護福祉士)
入職日 H10.9.1

縄文棟2階は、ご利用者様の人数が55名と国立あおやぎ会の中でも一番多いフロアです。実習生やボランティアを積極的に受け入れることで、刺激を日常的に感じられる環境です。ご利用者様の潜在能力を活用することを目指しています。時に失敗し、ご意見をいただくこともあると思いますが、これからもご利用者様・ご家族様に安心して信頼してもらえるよう努力を続けて参ります。



スタッフ

介護福祉士	橋口 希生 (介護課長) 東邦彦 (主任)	鈴木 集有 内野 人貴子	看護師	角町 麻衣 日和佐 円夏
鈴木 涉子 (主任)	木田 雅子 (主任)	福井 謙勝 崎木 太子	准看護師	櫛田 洋子 岩谷 ミサ子
大丸直美 (主任)	木村淳史 (主任)	福浜 青木 謙記		
福田江里 (主任)	山田菜美 (主任)	木村 有里		
青木有里 (主任)	谷島真彩 (主任)	高裕華 (主任)		
鈴木葉 (主任)	木島彩高 (主任)	高華浩 (主任)		
			その他	小林 遼太郎 (非)

国立あおやぎ苑 縄文棟3Fより

縄文棟3F



介護課長

阿 部 正 典 (介護福祉士)

入職日 H15.4.1

今後の縄文3階を見据えて

縄文棟3階は短期入所とミドル入所棟となっています。フロアが最も大切にしているところは職員が仕事を楽しんで行えること。そして同時に利用者様が喜んでいただくことを第一に考えております。一見全く違うように思われますが、利用者様の笑顔は職員にとって活力となり、やりがいに繋がります。大変なことも多々ありますがチームワークで乗り切り、あおやぎ苑の発展とともに成長していきたいと思います。

 A portrait of a young man with short dark hair, wearing a light blue t-shirt, smiling broadly at the camera.

看護課長

福 島 寿 和 子 (看護師)

入職日 H24.1.11



10周年記念誌の看護部長の言葉に「自分より若い介護スタッフ達の優しさの感じ方が新鮮」とありました。10年前新人ナースだった私はこの言葉に納得し、日々の仕事で介護スタッフがまるで家族のよう利用者に接する姿に感動したものでした。あれから10年が経ち、私は医療だけではなく介護の現場で仲間と利用者と共に生活していることに感謝しています。

スタッフ

介護福祉士 阿 部 山 正 澄 典(介護課長)
丸 竹 美 橘(主任)
佐 加 納 純 (主任)
加 山 野 邊 智 久(主任)
渡 遷 智 美 将
村 岡 加 史

介護士

坂 上 伸 田 忍 沢 治
植 吉 忠 寿 子 子(非)
吉 高 本 順 子
屋 木 恭 子
木 澤 子

看護師

島 川 審 紺 紀 里 也
高 須 下 納 拓 也
須 元 納 拓 也
下 納 拓 也



Chapter 4

振り返って

国立あおやぎ苑 縄文棟4Fより

縄文棟4F



介護課長

松浦 広太 (介護福祉士)

入職日 H17.4.1



こんにちは縄文棟4階です。私たちのフロアは他と違い入所者数が少なく、ご利用者様が集まる食堂も狭いです。そのおかげでご利用者様同士や職員との関わりがより深く感じます。特にレクリエーションや行事では、皆様楽しく参加しております。ご家族様が参加できる行事では毎回多くのご家族様が参加されて食堂に入りきれないほどです。そしてご家族様だけでなく他のご家族様と談笑されたりして楽しい時間を過ごされています。これからもご利用者様に元気に楽しく生活していくだけるよう職員一同力を合わせて寄り添っていきます。

スタッフ

介護福祉士	松浦 広祐	太(介護課長) 一(主任)	介護士	野崎 彩乃
吉良	原塚 良智	介(主任)		
萩石	本井 靖季	子(主任)		
竹	橋井 季月		看護師	五十嵐 和子 平石 慶子
石	上	奈(非)	准看護師	佐藤 奈緒美 小田 洋子
高				
石				
田				
上				

栄養室より



室長

中村 結花 (管理栄養士)

入職日 H24.8.11

私は平成16年に入職いたしました。もう15年目となります。そのうちの3年間は、他の施設で働きました。そこでクックチル・真空調理を学んで国立あおやぎ苑に戻り、それを活かし実践出来ている事を嬉しく思います。

今後もこの調理法で、日々の食事や行事食・スペシャルランチ・選択食等、さらに美味しいと思ってもらえる様に努力をしていきます。

室長代理

小口 晴美 (管理栄養士)

入職日 H18.4.1

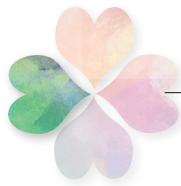


開苑20周年おめでとうございます。私は入職して約12年になりますがスペシャルランチが始まった年でした。毎日曜日ごとに行って、あおやぎ苑独自のメニューは毎月変わり、たくさんの方に参加していただいています。ご家族とのコミュニケーションもとれますし、ご利用者様の笑顔が見れる良い機会です。

栄養室は施設管理栄養士5名と富士産業(株)に業務委託し、食事を提供しています。より安全に美味しい食事を提供していきます。

スタッフ

管理栄養士 中村 結花(室長)
小口 晴美(室長代理)
松本 久美子(主任)
金指 雄汰
清水 由佳



Chapter 4

振り返って

相談室より

相談室



室長

伊藤 浩一 (介護福祉士)

入職日 H16.10.1



【創立20周年を迎えて】

この度、国立あおやぎ苑は創立20周年を迎えることができました。地域の方々や利用者様に支えて頂いたことを心より感謝しております。

この20年の経験を活かし、これからも地域に根ざした施設として、定期的に改定される介護保険制度に沿いながら、皆様の期待に応えられるよう努めて参りますので宜しくお願ひ致します。

室長代理

野口 夕子 (介護福祉士)

入職日 H25.4.26



平成25年4月に入職、相談室に配属してから6年目になりました。最初は通所担当し、2年後に入所担当になり、電話対応の難しさを垣間見ることができました。相談室は窓口となる為、利用者様の思い、家族が求めるものは何か丁寧に接していくねばなりません。

今後もより一層「期待されるあおやぎ会」となるよう日々努力してまいります。

スタッフ

介護福祉士	伊藤 浩一(室長) 野口 夕子(室長代理)	支援相談員	石川 雄一郎(主任) 佐々木 こずえ(主任)
社会福祉士	北湯口 章(主任) 網野 慎二 瀧川 明美(非)		萩原 雅代 宮田 直子

施設サービス計画課より



主任

川嶋佳江 (介護支援専門員)
(社会福祉士)

入職日 H23.2.1

ケアマネージャーは現在3名です。当苑では実務経験後ケアマネになった人も多く、皆頑張って仕事をさせていただいています。

私はH23年に入職し、縄文棟ができたからは本館と縄文棟を受け持ち、担当会議の多い月では30件近くになることもありますが、日々時間に追われながらやっています。いろいろな理由で入所された利用者様ですが、加齢に伴い、疾患や老衰により看取りを据えてお世話するケースも増えています。私は、この仕事に入るきっかけは偶然だったような気がしますが、それがいつのまにか天職になるとは思ってもいませんでした。利用者様や、ご家族様に助けられることも多く、今後も微力ながら励んでまいります。

スタッフ

介護支援専門員 川嶋佳江(主任)(社会福祉士)
清水順子(主任)
宮内千晶(社会福祉士)
清水綾子



Chapter 4

振り返って

総務課より

総務課



総務・経理課長

古宮 彰仁

入職日 H29.12.11



おかげさまで設立20周年を迎え、

今では地域になくてはならない施設
になっていると確信しております。

地域のため、関係する皆様のため、職員が働きやすい職場にするために総務課全員で介護現場を影となつてお手伝いし、利用者様と職員に満足いただける施設にしたいと思いますので今後とも宜しくお願ひします。

スタッフ

本宮 宏彰
古石 克成
中江 崎翔
笠 原謙
美(事務長)
仁(総務・経理課長)
直(主任)
美(主任)
太子

吉井 誠
蓮玉 茂
堂 千利
田 上江 谷
萌 也
いずみ 圭
聖 雄(非)

箱 守 則 行(企画課課長)

グループホームあおやぎの家 スタッフ

P49

介護福祉士 飯田 真広(ホーム長)	金子 千里(非)
関口 武志(主任)	鈴木 弥生(非)
小川 富世	
武智啓子	
佐々木 由美	介護士 山科 良子(非)

富士見台介護相談センター スタッフ

P50

主任介護専門員 有田 元康(所長)	増田 邦彦
堀口 志穂	根崎 大輔
	岡本 和代
介護支援専門員 城戸口 優子(主任)	
齊藤 有希	
門西 英子	

谷保デイサービスセンター スタッフ

P51

介護福祉士 栗原 瑞枝(所長)	看護師 生沼 三津代(非)	介護士 内山 香代子(主任)	運転手 柳井 征将(非)
理学療法士 大崎 詩織	介護福祉士 鈴木 吉則	内山 香代子(主任)	
作業療法士 山口 あや	白川 里美	内山 香代子(主任)	

立川南口デイサービスセンター スタッフ

P52

介護福祉士 百瀬 宣次(所長)	介護福祉士 深澤 園香	運転手 滋野 幸男(非)
生活相談員 池田 一恵	介護士 藤沼 和代	
准看護師 金子 澄子	山下 浩平	

八王子デイケアセンター スタッフ

P54

介護支援専門員 山本 勇(所長)	介護福祉士 高橋 賢(主任)	介護士 石井 三奈実	運転手 笹本 和美(非)
介護福祉士 磐野 雅史(所長代理)	高西 室紀穂	介護士 井田 三由介	井津木 敦志(非)
支援相談員 夏目 幸弘(主任)	木村 由美	石栗 渡雄	池田 佳隆(非)
理学療法士 梁川 貴哲(主任)	平綿 小百合	せきわ・じゅくわ・めい	北村 智明(非)
作業療法士 滝谷 英里(非)	山崎 奈美	三原 弘毅	岡部 聰(非)
大堀 綾希	岡部 友美	伊藤 喜枝子	

訪問介護ステーション 国立あおやぎ苑 スタッフ

P55

介護福祉士 高橋 由香里(所長)	宮崎 秀美(非)	米谷 俊介(非)	杉田 須美子(非)
渡邊 幸子(主任)	小俣 幸子(非)	岡澤 光子(非)	野村 公子(非)
小杉 晃子	竹延 久美子(非)	高橋 真智子(非)	中根 紀子(非)
徳岡 多美	大熊 ルリ子(非)	佐藤 潤子(非)	大野 智子(非)
三橋 洋子	大角 田隆存(非)	大岐 洋子(非)	
下山 德子	木皿 恵美(非)		

みのわ通りクリニック

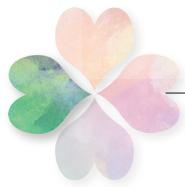
P56

医師 横井 英二(院長)	看護師 小泉 知史(主任)(兼任)	受付・事務 田山 恵美子
看護部長 羽牟祐子(兼任)	准看護師 本山 美佐	澤山 千枝(非)
薬剤師 田中 雅子(非)		

ケアハウス国立あおやぎ苑 スタッフ

P57

介護支援専門員 上濃 真由美(施設長)	堀井 美咲	入浴介助 竹田 健	准看護師 花岡 小代子
理学療法士 伊藤 綾子(主任)	遠藤 修弘	菜摘(非)	口沢 晴美(室長代理)(兼任)
作業療法士 野月 幸枝(非)	池端 崇	美那子(非)	智亞紀
介護福祉士 原卓也(課長)	島崎 瑛	史(主任)(兼任)	秋
香木 克巳(課長代理)	粕谷 仁	由香里	莉
松本 潤(主任)	三浦 美枝	嶋純子	孝(課長)
佐々木 真由美(主任)	吾妻 由佳(非)	井橋 恭子	臣(非)
長澤 真奈美(主任)	山本 茂子	昭子(兼任)	
福田 麻里(主任)	中村 豊	惠理子	



Chapter 4

ご家族様より

ご家族様より

あおやぎ苑設立二十周年記念に 感謝込めて



利用者 上野昭子様

ご家族 古谷京子様

我が家は口では言い表せぬ程おせわになっています。只今4人目がお世話になっております。今年の1月に母が倒れ、いきなり要介護4と認定され病院から2月に入所させて頂きました。2月から3月の1ヶ月で父と義母が亡くなり、父はあおやぎ苑で看取って頂きました。二人とも天国で感謝しています。宜しくお願ひいたします。

「感謝を込めて」



利用者 菊池やす様

ご子息 菊池英樹様

1週間持つかという状態で母は入所しました。

あの日から3年。うとうとしている時間が多くなりましたが今も存命しています。ひとえにスタッフの皆様方のおかげと感謝にたえません。施設を訪問するたびに「ここにちは」の一言でぱッと元気になり元気づけられます。スタッフの明るさ、これはあおやぎ苑の宝物です。

これからもよろしくお願ひします

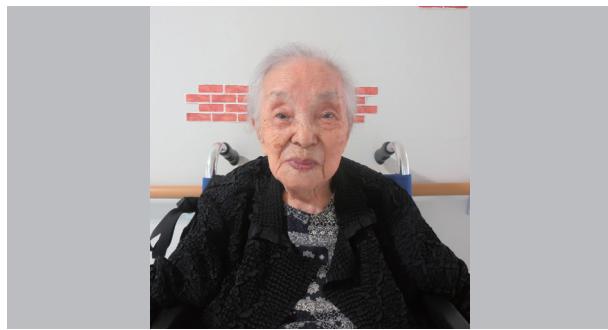


本館4階利用者様

ご家族 大佐古孝子様

母が脳梗塞になって15年が過ぎようとしています。最初はショートステイを利用して何とかやっていましたが、7年位ころから私の方がガタが来てしまい入所という形にしていただきました。それ以来いろいろな事を繰り返しながらここまで来ました。母も安心しきっていると思います。その顔を家族が見てホッとしています。本当に看護、介護のメンバーに支えられてきたからなという事を実感しています。これからもよろしくお願ひします。

「あおやぎ苑」二十周年 おめでとうございます。

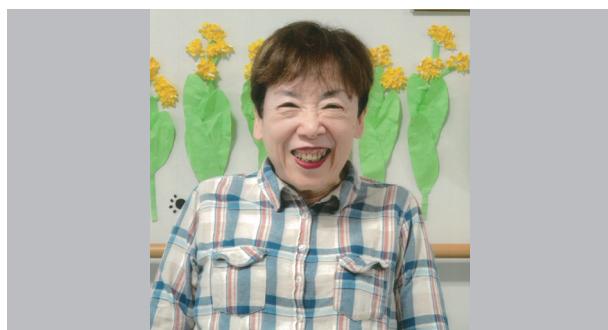


縄文棟 2階利用者様

ご家族 辻 たつよ 様

「あおやぎ苑」二十周年おめでとうございます。「あおやぎ苑縄文棟」が出来た時に入らせていただき、ここに入って本当にやさしくしていただきうれしく思っています。ここに入ってみて、人間は人間に対して、こんなにやさしくできるのかと感動しました。皆様のやさしさに感謝しながら、第二の人生を一日一日大切に過ごしてゆきたいと思っています。

あおやぎ苑と私の20年



縄文棟 3階利用者様

辻 紀子 様

おめでとうございます。私が「あおやぎ苑」の近所に越してきて、まもなく「あおやぎ苑」ができました。そしてその5年後から私はこちらにお世

話になり現在に至っております。「あおやぎ苑」が出来て、20年がたったのかと思うと感慨深いものがあります。これからもお世話になるつもりであります。更なるご発展をお祈り申し上げます。

出会いから20年



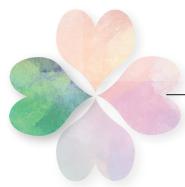
縄文棟 4階利用者様

ご家族 海野 葵 様

命は救われたものの脳動脈瘤の手術の後遺症で、母は手も足も口も不自由な障害者となってしまった。長い入院生活を経て在宅介護を決断した私でしたが日々ため息ばかりの現実。地元に「良い施設ができる」という朗報は本当に嬉しく開苑を心待ちにしたことを思い出します。母は3日デイ(リハビリ)に通い…私は毎月のようにショートステイをお願いし…いつも皆様の明るい笑顔に感謝しつつ、16年近く家で暮らすことができた。

年月を重ね…母も私も歳には逆らえず、素人の介護に限界を感じた時に縄文棟がオープンし有難く委ねることにした。今年はケアハウスにもクリニックにもお世話になり…。ご縁があつてテープカットの瞬間から20年、あおやぎ苑と共に歩んできた母はたくさんの温かい手に助けられ、支えられ、米寿を迎えた。

幸せには色々なかたちがある事を皆様から教わった気がする。



Chapter 4

ボランティアより

ボランティアより

多くのボランティアの皆様に元気を頂きました。



フラダンス「ハニーフラ」



マジック中村さん「木曜会」



懐かしの歌会



生け花



声楽「エトワール」



くにたち福祉のつどい出展



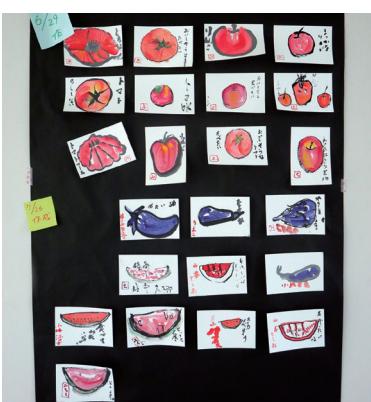
くにたち福祉のつどい出展



くにたち福祉のつどい出展



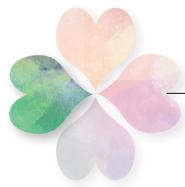
書道



絵手紙



都立第五商業高等学校吹奏楽部



Chapter 4

永年勤続20年表彰者より

永年勤続20年表彰者より

看護部長代理 兼 本館2F介護課長

石井 洋 晓

入職日 H10.9.1



緊張の面持ちで青年
はスーツに袖を通し、車
から降りた。社会人として
の第一歩。いや、第一歩

を踏み出せるかどうかは、今日の面接に全てか
かっている。

「わたくし、石井洋曉と申します。よろしくお願
いします。」

(よし。明るく元気に挨拶だけはしよう。)

大きく息を吸い込み、面接会場に指定されたブ
レハブの階段を上りドアを開ける。

メガネのおじさん一人。

「あつ。」

「いすう君だね。」

「座って座ってえ。」

「おつ。」

「いすう君は野球やるんだねえ。」

「安心して。」

「あおやぎ苑もいつか野球部作るから頑張って
やってえ。」

「よろしく頼むねえ。」

面接終了。

ん?いすう君?野球部?頑張ってやって?よろし
く?どういう事だ?まだ志望動機も話していない
に採用されたのか????

あれから20年。

無事採用された「いすう」君は、感謝と信頼の思
いを胸に今日も働いています。

また春がきます。みなさまの心に素敵なお花が咲
きますように。

縄文棟2F 介護課長

樋口 希生

入職日 H10.9.1



今年、あおやぎ苑が二
十周年になると同時に、
私も勤続二十年になりました。
あっという間の二
十年でしたが、少しは私も成長できているかと
考える毎日です。

開設当時、新卒で初めての職場が国立あおや
ぎ苑となる私は、緊張や不安もあったと思いま
すが、経験者の先輩方、同じ新卒の友人達のお
かげで楽しかった思い出しかありません。もちろ
ん、ご利用者様との思い出もありますが、経験を
積むにつれ楽しいだけでなく、初めて心臓マッ
サージをした時、ターミナルケアで看取った日
と、何とも言えない気持ちになり、忘れられない
ことも少なくはありません。

そんな時、ご利用者様やご家族様から、不意
にかけられる「ありがとう」の一言が、職業柄仕
方ないと割り切っている心を軽くし、明日も頑張
ろうと前向きにさせてくれます。

ご利用者様、ご家族様、ボランティアの方々、
実習生、フロアや他部署の職員、仕事をするうえ
で関わる全ての方々に感謝し、今後も、この仕事を
続けていきたいと思います。



通所リハビリ棟 準看護師

山尾 ゆき子

入職日 H10.9.1

私は23年前に立川へ移住してきた事から、当施設を知り、国立あおやぎ苑が建設中のため、横にあるプレハブの事務所で中川常務に面接をして頂きました。

入社後は、沢山の人との出会い、だけではなく別れも沢山ありました。初代の岩井看護部長から歴代の方々の導きを受けたお陰で、信念を曲げずに仕事を続けることが出来ました。移動も数々経験し、現在の通所リハビリ棟で勤務になったのは平成28年7月11日でした。

御高齢者との信頼関係を良好に保ちながら、御家族のニーズにも応えてきました。ある日の事、脈拍が35という状況にも関わらず、ご自身は苦痛が全くないという事で、ベッドにて静養などの対応を行うと、昼食後には回復され、元気に自宅へ戻る事ができました。利用者様個人の症状の違いに驚く事も、常識が当てはまらない事も沢山あります。今でも毎日が勉強の日々です。努力を惜しまず、仲間を信じ、人と寄り添いながらも働く喜びを感じ、気がつけば20年という長い年月が過ぎて来たと思います。これからもあおやぎ苑の倫理にある地域貢献の言葉を忘れずに、仲間と一緒に奮闘を続けてまいります。

最後に国立あおやぎ苑創立20周年、おめでとうございます。

心より祝い申し上げます。



医師

河本 卓也

入職日 H10.10.1

あおやぎ会が20周年を迎えた事を心よりお祝い申し上げます。

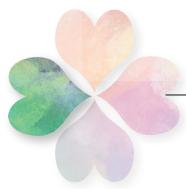
私が初めてあおやぎ苑に伺ったのは20年前の建設工事中の時でした。苑を見せて頂いた時の最初の印象は、高齢者介護という概念がまだ確立していなかったにも拘らず、こんな繊細な所まで気遣い、配慮されている施設を見たことがないと驚いた事でした。

当時の施設にはない脱臭設備やセキュリティーシステム、加湿器など、今では当たり前ですが当時の病院には無いものばかりで介護とはこういう事なのだと教えられたものでした。

そして初代理事長太田先生と中川常務のお話から高齢者介護問題に興味を持ち、私はあおやぎ苑での一歩を踏み出しました。

この20年間で、あおやぎ苑は大きく発展され、私が知人に最もすすめたいと思える施設になりました。私が20年間続けさせて頂けたのも、あおやぎ苑の理念とスタッフの素晴らしい所があったからこそと感謝しております。

これからも素晴らしいこの理念が受け継がれていくと思っております。



Chapter 4

思い出の写真

チャリティーカラオケ大会



キャンドルルサービス



春まつり



さくらフェスティバル



納涼祭

国立市民祭り(よさこい)



国立市民祭り(秋田名産販売)

あおやぎ会 グループ 事業所紹介



afterword

あとがき

『事業は人にあり』この記念誌を作成するにあたって思い返した言葉である。

私は、国立あおやぎ苑の実務について間もない新人であり、まだ事業内容も職員の顔も名前も一致しないところから記念誌の作成を始めました。

過去の資料を読み返し、各部署からの協力を頂く中で、経営者のご利用者の為に…、この地域の為に…、従業員の為に…という熱く強い思いや、介護の仕事に取り組む職員達の明るく前向きな優しさを感じました。この短い期間においても、介護施設に訪れるご入居様やそのご家族様より、職員の優しさや明るさに励まされたとの声を数多く頂きました。

「松下電器は何をつくるところかと尋ねられたら……、松下電器は人をつくるところです。併せて電気器具もつくっています。こうお答えしなさい。」これは経営の神様と呼ばれた松下幸之助の言葉です。

彼は後にこう説明しています。事業を成功させるにはそれに先んじて人を養成するということでなくてはならない。すなわち「事業は人にあり」

人(経営者)の強い思いが、魅力的な人(従業員)をつくり、人(地域)から信用される。

まさに「事業は人にあり」これこそ、当法人がこの地域で介護事業を進めて来られた礎となっているのだと。

最後になりますが、記念誌の発行にあたり、多くの方々よりご寄稿頂きました事を心より感謝申し上げます。

企画課 課長 箱 守 則 行

入職日 H25.4.26

表紙の写真／提供元：国立市

上：旧国立駅舎
右：大学通り
左：アンネのバラと記念の像
下：さくら通り



発行 医療法人社団 国立あおやぎ会
東京都国立市青柳3-5-1
TEL 042-526-5100

発行者 理事長 大富 真吾
企画 常務理事 中川 進

発行日 平成30年12月1日

印刷 株式会社 朝 雅



Medical corporation Foundation
Kunitachi Aoyagikai